

令和5年度 事業概要



国道138号 新屋拡幅



笛吹川 笛吹市一宮町田中護岸



国土交通省 関東地方整備局
甲府河川国道事務所

目 次

事務所の概要

甲府河川国道事務所の概要	3
--------------	---

河川事業

主要事業位置図（河川）	4
事業費（河川）	5
【富士川河川改修事業】	
切石・手打沢地区築堤	6
木島地区河川防災ステーション	7
【富士川総合水系環境整備事業】	
五貫島地区水辺環境整備	8
高田地区水辺環境整備	9
笛吹石和地区水辺環境整備	10
山梨市万力公園地区水辺環境整備	11
笛吹川柏排水機場遠隔監視設備更新	12
河川維持管理	13
流域治水プロジェクト	15

道路事業

主要事業位置図（道路）	16
事業費（道路）	17
【改築事業】	
国道 20号 新山梨環状道路 広瀬～桜井	18
国道 20号 新山梨環状道路 北部区間	19
国道 20号 新笹子トンネル改修	20
国道 20号 大月バイパス	21
国道 52号 上石田改良	22
国道 138号 新屋拡幅	23
国道 139号 都留バイパス	24
中部横断自動車道（富沢～六郷）	25

目次

【交通安全事業】

国道 20号	四方津地区歩道整備	26
国道 20号	初狩地区歩道整備	27
国道 20号	一ツ谷交差点改良	28
国道 20号	広瀬交差点改良	29
国道 20号	三社神社入口交差点改良	30
国道 52号	万沢地区歩道整備	31
国道 138号	山中湖自転車歩行者道整備	32
国道 138号	明神前歩道整備	33
国道 139号	上暮地歩道整備	34
	道の駅「富士川」	35

【無電柱化事業】

電線共同溝事業	36
---------	----

【道路維持修繕】

道路維持管理（日常の管理）	38
令和5年度の道路調査の見通しについて	39
中部横断自動車道（長坂～八千穂）	40
インフラDX（河川事業）	41
（道路事業）	43

参 考

中部横断自動車道の概要	45
中部横断自動車道のストック効果	46
山梨県の道の駅	56

甲府河川国道事務所の概要

当事務所は、災害に強く、誰もが安心して暮らすことができる活力と魅力に満ちた国土づくりを目指し、河川事業及び道路事業を実施しています。

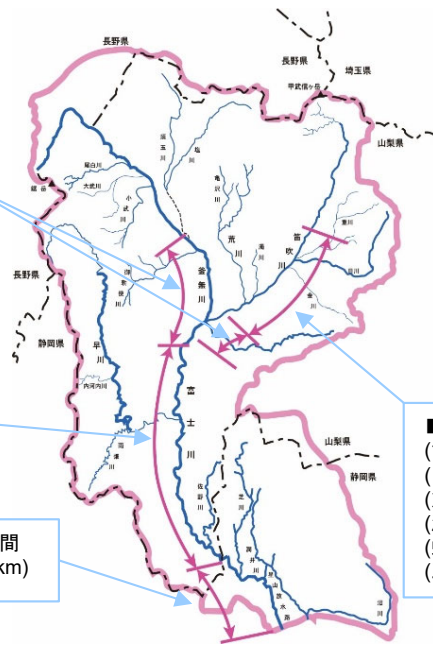
■河川事業

富士川、釜無川及び笛吹川等の計約122kmの維持管理、浸水被害解消のための築堤護岸等の整備や河川防災ステーションの整備、環境整備等を行っています。

■富士川上流出張所 管理区間
 (富士川 富士橋～武田橋 23.0km)
 (笛吹川 合流点～JR身延線鉄橋 5.5km)
 (御勅使川 合流点～御勅使川橋 1.8km)
 (塩川 合流点～塩川橋 1.0km)

■富士川中流出張所 管理区間
 (富士川 静岡・山梨県境～富士橋 44.0km)
 (早川 合流点～早川橋 3.0km)

■富士川下流出張所 管理区間
 (河口～静岡・山梨県境 18.0km)



管理区間長(総延長122.1km)
 富士川(85.0km)
 ・早川(3.0km)
 ・笛吹川(28.0km)
 五割川(0.1km)、蛭沢川(0.3km)、
 濁川(0.4km)、日川(1.0km)、重川(1.5km)
 ・御勅使川(1.8km)
 ・塩川(1.9km)

■笛吹川出張所 管理区間
 (笛吹川 JR身延線鉄橋～岩手橋 22.5km)
 (日川 合流点～日川橋 1.0km)
 (重川 合流点～重川橋 1.5km)
 (濁川 合流点～0.4m)
 (蛭沢川 合流点～0.3km)
 (五割川 合流点～0.1km)

■道路事業

国道20号、52号、138号、139号、中部横断自動車道の5路線、計約270kmの維持管理、新設・改築、防災対策、交通安全対策等を行っています。

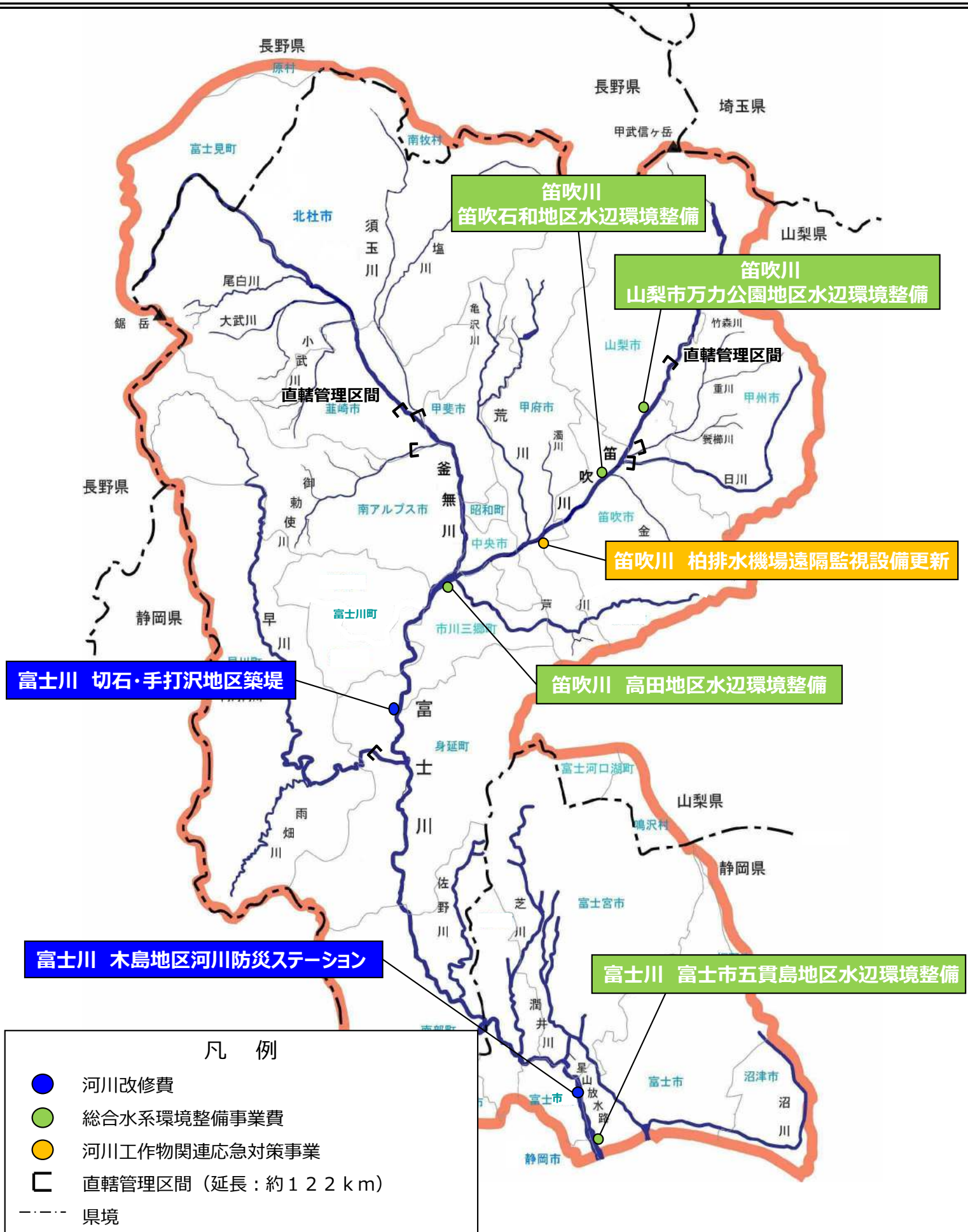
●出張所別路線別管理区間延長 (単位:km) (2023年4月1日時点)

路線出張所	国道20号	国道52号	国道138号	国道139号	中央部横断自動車道	計
大月出張所	29.5 (3.2)			19.6 (6.4)		49.1 (9.6)
大和国道出張所	31.1					31.1
甲府出張所	42.9	20.1 (0.5)				63.0 (0.5)
峡南国道出張所		52.6			28.4	81.0
富士吉田国道出張所			14.2	32.0		46.2
計	103.5 (3.2)	72.7 (0.5)	14.2	51.6 (6.4)	28.4	270.4 (10.1)

※()書きはバイパス管理区間延長(内書き)



主要事業位置図(河川)



事業費(河川)

令和5年度 甲府河川国道事務所 事業費(河川)

(単位：百万円)

事業名		事業費
河川改修費	・富士川 切石・手打沢地区築堤 ・富士川 木島地区河川防災ステーション	810
総合水系 環境整備事業費	・富士川 五貫島地区水辺環境整備 ・笛吹川 高田地区水辺環境整備 ・笛吹川 笛吹石和地区水辺環境整備 ・笛吹川 山梨市万力公園地区水辺環境整備	55
河川工作物関連応急対 策事業	・笛吹川 柏排水機場遠隔監視設備更新	32
合計		897

※上記のほか、河川維持修繕費、諸経費等がある。

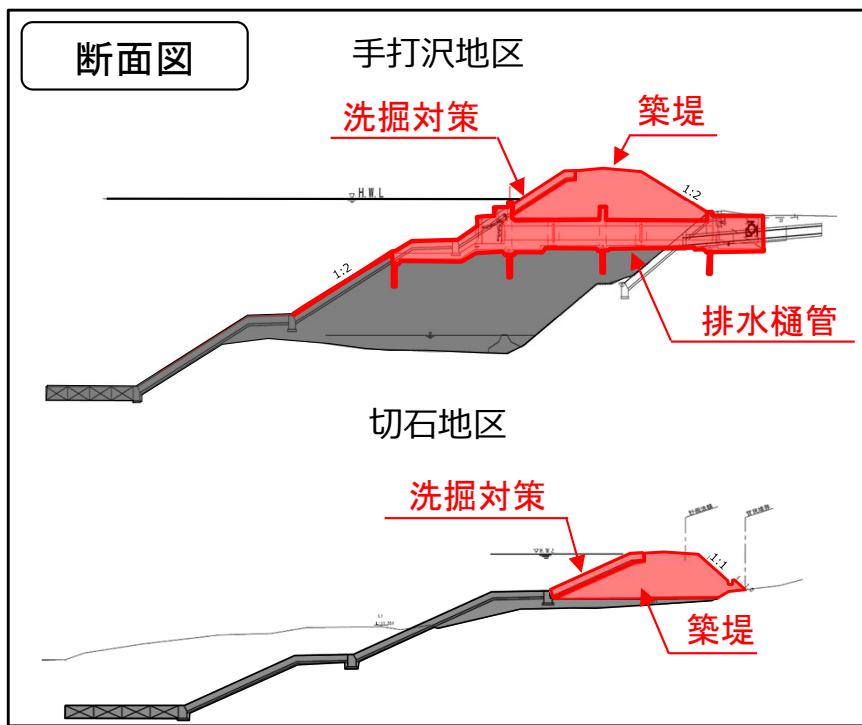
【事業の概要】

身延町切石・手打沢地区は、身延町役場があり、災害時には町の中核機能として重要な箇所ですが、昭和34洪水、昭和57洪水では堤防が無い、或いは低い箇所の為、浸水被害が発生しました。

このため、築堤護岸整備を実施し、浸水被害の解消を図ります。

【令和5年度の予定】

切石・手打沢地区の築堤護岸、排水樋管整備を実施します。



【事業の効果】

無堤防地区の築堤護岸等を整備し、戦後最大降雨(昭和57年洪水)による浸水被害の解消が期待されます。

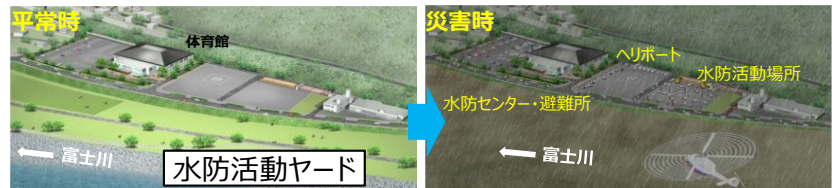
【事業の概要】

富士川下流部は人口、資産が集中する加島平野を抱えるとともに、東名高速道路や東海道新幹線等の東西日本を結ぶ大動脈が存在するため、ひとたび氾濫すれば甚大な被害が生じる恐れがあります。また、当地区は南海トラフ巨大地震による被害も懸念されています。

このため、氾濫時や大規模災害時において、迅速な復旧活動を行うための、河川防災ステーションを整備します。

【令和5年度の予定】

資材備蓄ヤードの備蓄材整備を実施します。

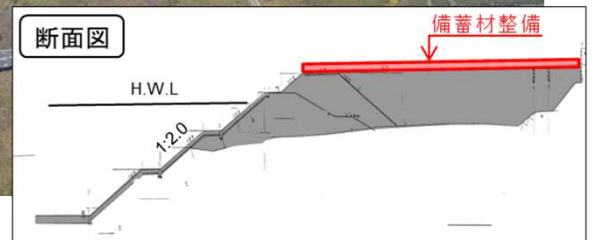


災害時においては、水防センターや一時避難場所として活用され、また、ヘリポートなど水防活動の拠点となります。



災害時においては、被災箇所の迅速かつ円滑な復旧活動を行うための資機材提供を行う拠点となります。

航空写真



【事業の効果】

河川防災ステーションを整備することにより、大規模災害時において、迅速な復旧活動の拠点となります。

【事業の概要】

富士市五貫島地区には、大規模総合運動公園である富士川緑地公園があり、市が富士山に続く観光資源の創出を図るため、富士川緑地公園の再整備を実施しており、スポーツの全国大会開催が可能となる様に施設のレイアウト変更や機能向上を図っています。

この市の取り組みに合わせ、河川を利用する上での安全・安心に係る河川管理用施設を整備し、魅力ある施設と連携した賑わいのある水辺空間を創出します。

R4年度に坂路改良が完了し、R5年度は利用状況等のモニタリングを実施します。

【令和5年度の予定】

モニタリング(利用実態調査)を実施します。



【五貫島地区】



【事業の効果】

市による富士川緑地公園の再整備に合わせ、大型バスの通行可能なアクセス道路を整備し、災害時における災害対策車両の動線確保を行うことで、更なる良好な河川空間が形成され地域の活性化を図るとともに、災害時における防災機能の向上を図ります。

【事業の概要】

市川三郷町^{いちかわみさと}では、令和元年度にかわまちづくり計画を登録し、水辺のレクリエーション利用の促進、花火等の地域産業活性化に取り組んでいます。

このため、治水上や河川を利用する上での安全・安心に係る河川管理用施設を整備し、市川三郷町のまちづくりと一体となった賑わいのある水辺空間を創出します。

R4年度に管理用通路整備が完了し、R5年度は利用状況等のモニタリングを実施します。

【令和5年度の予定】

モニタリング(利用実態調査)を実施します。



【市川三郷町地区】



【事業の効果】

背後地から河川内へのアクセスを容易にする河川管理用通路(坂路)や、花火大会や各種イベント時にも利用可能な階段護岸等を整備することで、市川三郷町が掲げる「花火で観光まちづくり」のテーマと連携し、水辺空間の創出、地域活性化を図るとともに、治水上の機能や河川巡視等における河川管理上の機能の向上を図ります。

【事業の概要】

現在、^{ふえふきがわ いさわ} 笛吹川の石和地区の下流においては、サイクリング、散策等の日常的な利用や、^{かわなかじま} 川中島合戦戦国絵巻、花火大会、体験型鶴匠等のイベントなど、様々な河川利用がなされています。

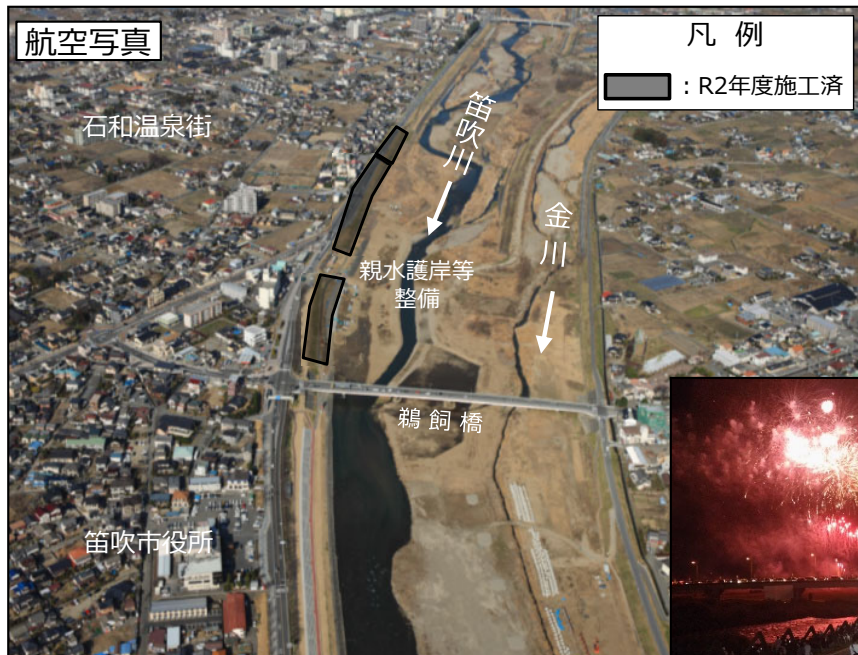
笛吹市における「笛吹市ミズベリング構想」では、笛吹川の石和地区、石和温泉街等の周辺地域も含めて一体的に整備を行うことにより、市民の憩いの場、観光資源として更に魅力的なまちづくりを目指しています。

本事業では、堤防強化と併せて、「笛吹市ミズベリング構想」を踏まえ、「笛吹市かわまちづくり」計画に基づき、河川利用上の安全安心を確保した上で水辺の活用を行うことができるよう親水護岸を整備し、河川空間の利用促進による地域活性化を図ります。

R2年度に親水護岸整備が完了し、R5年度は利用状況等のモニタリングを実施します。

【令和5年度の予定】

モニタリング(利用実態調査)を実施します。



【事業の効果】

^{ふえふき} 笛吹市の「かわまちづくり」と連携して親水護岸の整備を実施し、河川空間の利用促進により地域活性化に寄与します。

【事業の概要】

山梨市万力公園地区は、市が万力公園・万葉の森と隣接する笛吹川一帯を整備することで、賑わい・活力の創出、都市機能の充実、都市住民が自然と共存し憩える場となるような取り組みを行っています。また、当該地区には笛吹川沿いに隣接する医療施設があるため、既設のウォーキングコースと連携した河川管理用通路や、千鳥が生息可能な河川の整備を行い、水辺の癒し空間の創出に取り組みます。

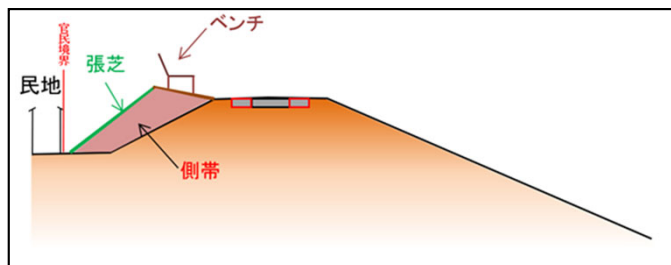
【令和5年度の予定】

管理用通路等の整備を実施します。

【万力公園地区水辺整備整備イメージ】



【イメージ図】



【事業の効果】

国が河川管理用通路と坂路の整備、市がウォーキングコースの拡張とベンチ、遊歩道の整備を実施することで、まちの魅力向上を図るとともに、河川巡視等における河川管理上の機能の向上を図ります。

また、国によるレキ河原再生のための河川整備により、より良好な河川環境を形成します。

河川工作物関連応急対策事業（笛吹川 柏排水機場遠隔監視設備更新）

【山梨県】直轄

【事業の概要】

かしわはいすいきじょう

柏排水機場は、大堀川などの氾濫を防ぐため笛吹川に総排水量10m³/sで排水する施設です。

「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」にのっとり、防災・減災、国土強靱化を強力に推進するため、操作の高度化として遠隔監視設備の更新にあわせて遠隔で操作できるシステムの導入を令和5・6年の2ヶ年で行います。

【令和5年度の予定】

遠隔監視制御設備の製作を実施します。

位置図



排水機場全景



操作室・制御設備

【事業の効果】

遠隔監視・操作化により、緊急時においても事務所から排水作業が可能な河川施設として気候変動の影響を考慮した治水対策強化を図ります。

河川維持管理(1)

【事業の概要】

富士川は長野・山梨・静岡の3県にまたがる流域面積が3,990km²、幹線流路延長が128kmの一級河川で、そのうち甲府河川国道事務所で管理する延長は、富士川、釜無川及び笛吹川等合わせて約122kmです。

沿川住民が安心して生活でき、多くの人々から親しまれる河川とするために堤防、護岸、河川構造物等の河川管理施設の維持・管理や堤防除草、河川巡視や定期的な点検等を実施しています。また、「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」にのっとり、防災・減災、国土強靱化を強力に推進するため、流域治水対策として樹木伐採、河道整正を行います。

【令和5年度の予定】

○日常管理

- ・堤防、護岸や排水機場等の河川管理施設の点検を行います。点検により、変状が確認された際には、補修等を行います。
- ・堤防の状態を点検・把握するために堤防除草を実施します。
- ・川の機能が正常に保たれているか、また堤防や樋管などに変状がないかなど、管内の河川巡視を実施します。

堤防点検



堤防除草



河川管理施設の点検



河川巡視



河川維持管理(2)

○緊急時の対応

・洪水や地震が発生した場合は、堤防、護岸、樋門や排水機場など河川管理施設の状況を巡視し、異常等が確認された場合は迅速に対応します。



令和元年台風19号の出水の影響により
河岸侵食が発生。(^{にらさき} ^{しもじょうひがしわり} 韮崎市下條東割地先)



被災後、緊急対応として根固めブロックの設置を実施。

○河川の機能を維持するための工事

・洪水時の安全な流れの阻害となったり、河川の状況把握に支障となる河川内に繁茂した樹木の伐採を行います。



河道内に著しく繁茂した樹木により、洪水時に水が流れにくくなります。また、河川の状況の把握が出来なくなります。

樹木伐採



樹木伐採により、洪水を安全に流下させます。また、河川の状況の把握が容易に出来ます。

○コスト縮減への取り組み

- ・伐採した樹木については、一般へ無料配布を行うことにより処分費にかかる経費の縮減を行っています。
- ・平成27年度から、更なる経費の縮減を行うため、公募による樹木の伐採を行っており、今年度も継続して実施していきます。



(令和4年度無料配布の状況)
(山梨県富士川町箱原地先)

流域治水プロジェクト

流域治水とは、気候変動の影響による激甚化・頻発化等を踏まえ、堤防の整備、ダムの建設・再生などの対策をより一層加速するとともに、集水域と河川区域のみならず、氾濫域も含めて一つの流域として捉え、地域の特性に応じ、

- ① 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
 - ② 被害対象を減少させるための対策
 - ③ 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策
- をハード・ソフト一体で多層的に進める考え方で

富士川水系流域治水プロジェクトにおいては、以下の対策事例の他にも多くの取り組みを実施しております。



○ 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

- ・富士川水系直轄河川改修事業
- ・いのちと暮らしを守る土砂災害対策の推進に関する取組
- ・利水ダム等における事前放流等の実施、体制構築、森林の維持・造成に関する取り組み
- ・雨水貯留浸透施設の整備

○ 被害対象を減少させるための対策

- ・二線堤・霞堤の保全・整備 等
- ・立地適正化計画による浸水リスクを考慮したまちづくり（防災指針の作成）

○ 被害の軽減・早期復旧・復興のための対策

- ・地域防災力の向上のための人材育成
- ・小中学生等を対象とした水災害教育、出前講座を活用した講習会の実施
- ・住民一人一人の避難計画・情報マップの作成促進
- ・地図等を用いた災害教訓の“見える化”

グリーンインフラの取り組み

- ・かわまちづくり
- ・礫河原再生
- ・外来種駆除

護岸整備状況



葦崎市栄地先(釜無川)

二線堤・霞堤の保全・整備



甲斐市竜王(信玄堤)

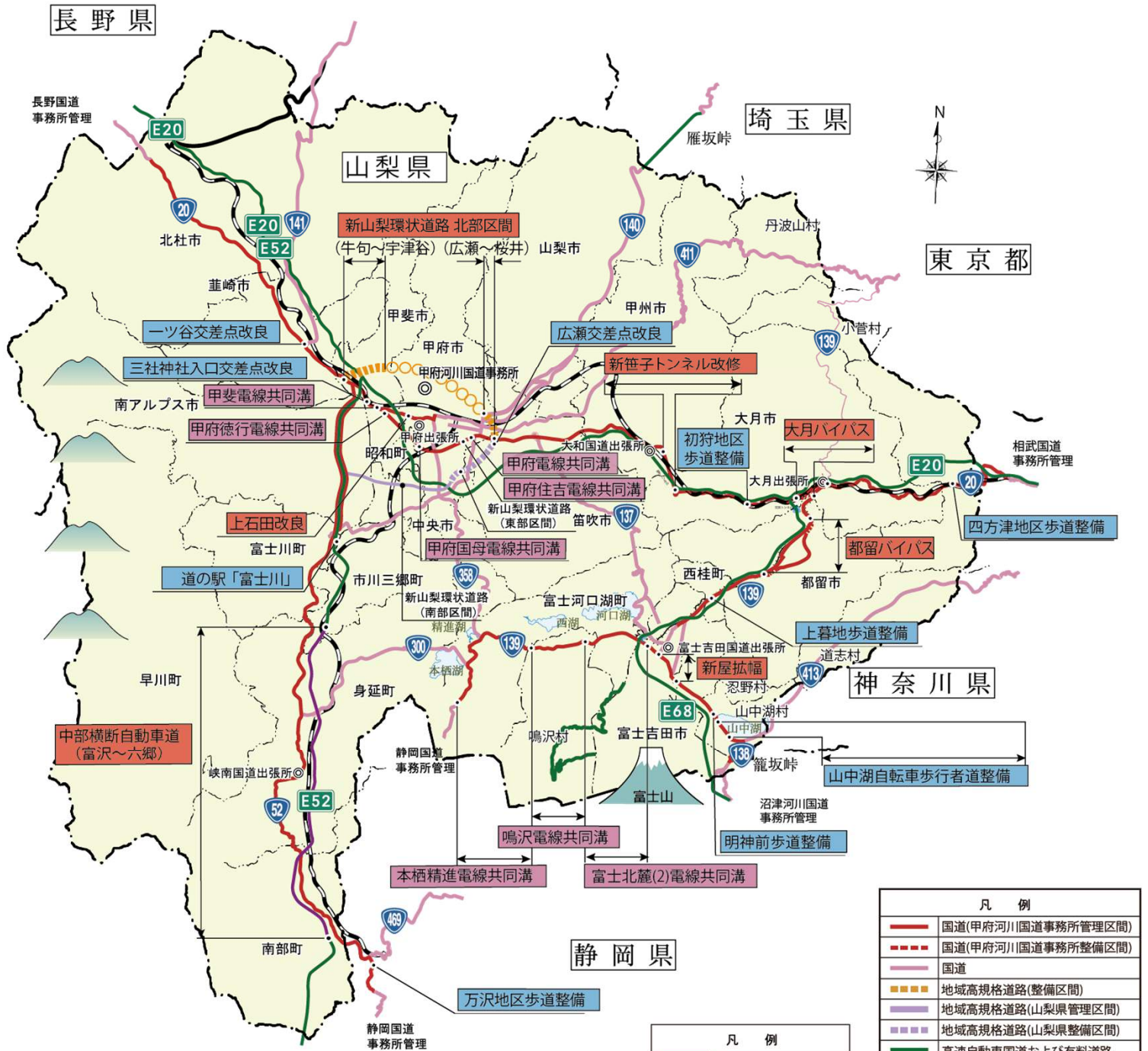
出前講座開催状況



高田階段護岸の利用状況



主要事業位置図(道路)



道路管理延長 (単位:km)

管理路線	延長
20号	104
52号	72
138号	14
139号	52
中部横断自動車道	28
合計	270

凡例	
■	改築事業
■	交通安全対策事業
■	電線共同溝事業

凡例	
—	国道(甲府河川国道事務所管理区間)
---	国道(甲府河川国道事務所整備区間)
—	国道
■	地域高規格道路(整備区間)
■	地域高規格道路(山梨県管理区間)
■	地域高規格道路(山梨県整備区間)
—	高速自動車国道および有料道路
---	高速自動車国道および有料道路(整備計画区間(但し事業中を含む))
—	高速自動車国道(直轄高速管理区間)

事業費(道路)

(単位:百万円)

事業名		事業費		
改築事業		4,875		
国道20号	新山梨環状道路(広瀬～桜井)	1,200		
国道20号	新山梨環状道路(北部区間)	150		
国道20号	新笹子トンネル改修	2,036		
国道20号	大月バイパス	61		
国道52号	上石田改良	134		
国道138号	新屋拡幅	454		
国道139号	都留バイパス	90		
中部横断自動車道(富沢～六郷)		750		
交通安全事業		1,020		
I 種	国道20号	四方津地区歩道整備	310	
	国道20号	初狩地区歩道整備	71	
	国道20号	一ツ谷交差点改良	110	
	国道20号	広瀬交差点改良	30	
	国道20号	三社神社入口交差点改良	30	
	国道52号	万沢地区歩道整備	20	
	国道138号	山中湖自転車歩行者道整備	60	
	国道138号	明神前歩道整備	20	
	国道139号	上暮地歩道整備	25	
	II 種	国道20号他	道路標識、防護柵、区画線、道の駅富士川 等	344
電線共同溝事業	国道20号	甲府電線共同溝	} 甲府圏域地域	631
	国道20号	甲府住吉電線共同溝		
	国道20号	甲府国母電線共同溝		
	国道20号	甲府徳行電線共同溝		
	国道20号	甲斐電線共同溝		
	国道139号	本栖精進電線共同溝	} 富士北麓地域	497
国道139号	鳴沢電線共同溝			
国道139号	富士北麓(2)電線共同溝			
合 計		7,023		

※上記のほか、道路維持管理費、調査費等がある。

改築事業 国道20号 新山梨環状道路 広瀬～桜井

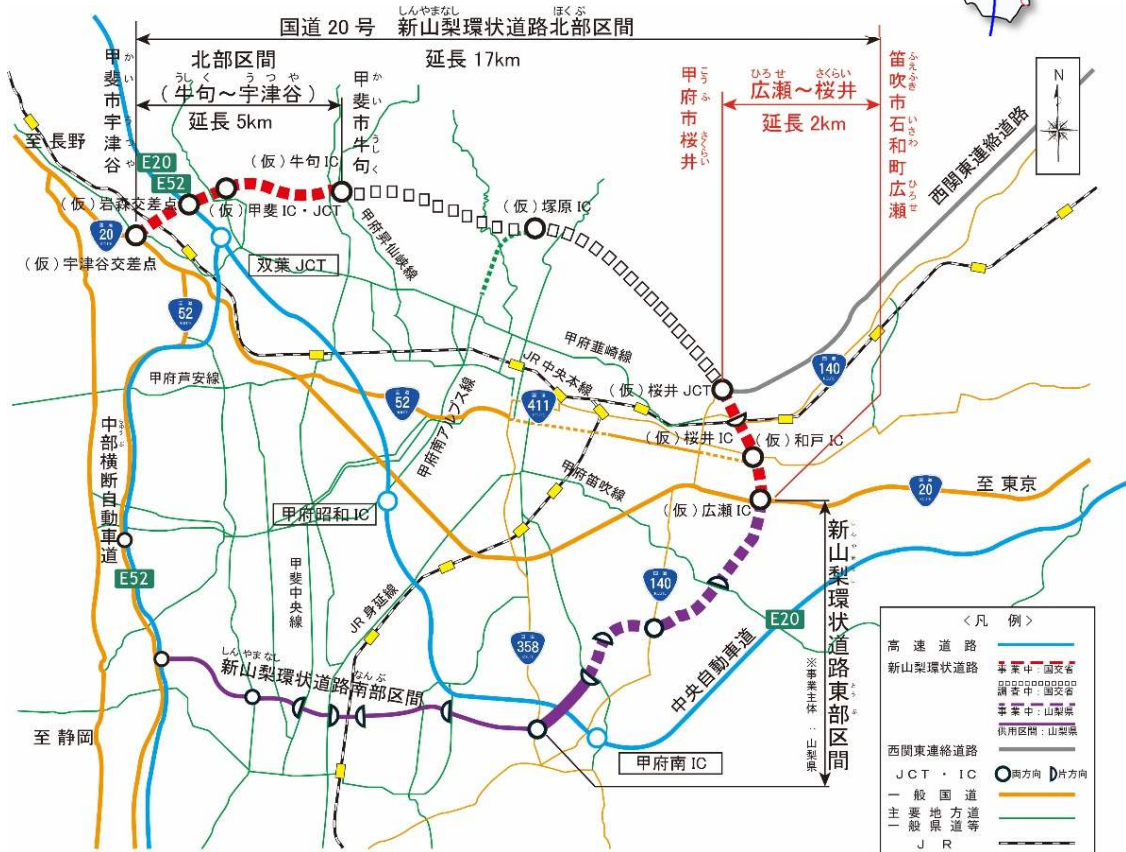
令和5年度事業費：12.00億円

【事業の概要】

新山梨環状道路 北部区間は、甲府中心市街地から半径およそ5kmから7kmの位置に計画された環状道路の一部を形成する延長17kmの国道20号のバイパス事業です。そのうち、広瀬～桜井は笛吹市石和町広瀬から甲府市桜井町に至る延長約2kmの道路です。

【令和5年度の予定】

引き続き、調査設計、用地買収、環境整備を推進します。



【事業の効果】

甲府中心市街地の通過交通の排除や流入交通の分散により、国道20号や国道140号、主要地方道甲府韮崎線など甲府圏域内の幹線道路の朝夕の慢性的な交通渋滞の緩和や交通事故の減少が期待されます。

また、峡東地域は富士・東部地域に次いで観光入込客数の多い地域であり、名勝である恵林寺やモモ・ブドウの生産を活かした観光果樹園などの観光地が点在しており、新山梨環状道路とリニア中央新幹線の整備の相乗効果により、峡東地域における東京都心からの1時間圏が拡大し、観光客増加に寄与します。

改築事業 国道20号 新山梨環状道路 北部区間

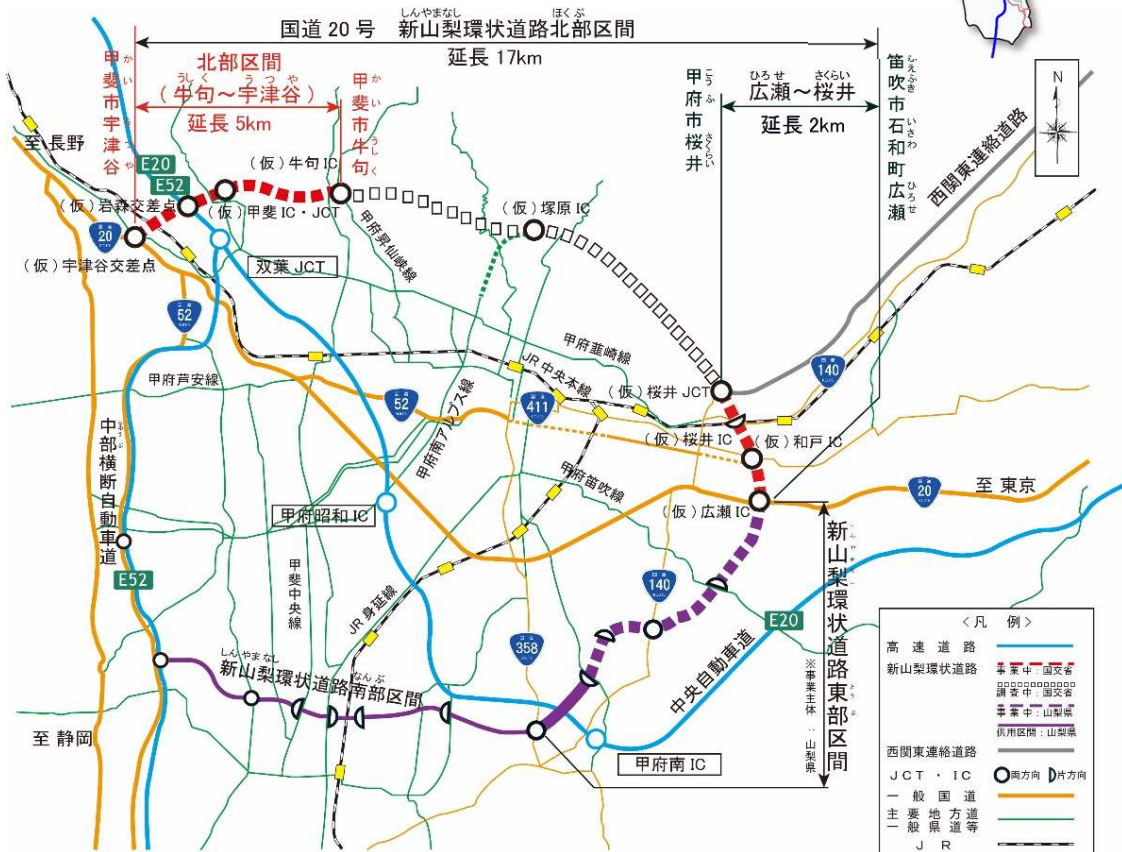
令和5年度事業費: 1.50億円

【事業の概要】

新山梨環状道路 北部区間は、甲府中心市街地から半径およそ5kmから7kmの位置に計画された環状道路の一部を形成する延長17kmの国道20号のバイパス事業です。そのうち、北部区間(牛句～宇津谷)は甲斐市牛句から同市宇津谷に至る延長約5kmの道路です。

【令和5年度の予定】

引き続き、調査設計を推進します。



【事業の効果】

甲府中心市街地の通過交通の排除や流入交通の分散により、国道20号や国道140号、主要地方道甲府葎崎線など甲府圏域内の幹線道路の朝夕の慢性的な交通渋滞の緩和や交通事故の減少が期待されます。

また、日本有数の景勝地である昇仙峡への最寄ICとして、牛句IC(仮称)が新たに整備され、高規格道路を利用した観光客のアクセス性の向上が期待されます。

改築事業

国道20号 新笹子トンネル改修

令和5年度事業費:20.36億円

【事業の概要】

国道20号新笹子トンネル改修は、老朽化が著しく、また断面不足により背高コンテナの通行に支障をきたしている、山梨県大月市笹子町黒野田から甲州市大和町初鹿野の新笹子トンネルと、甲州市大和町初鹿野地先の観音トンネルの改修を行う事業です。

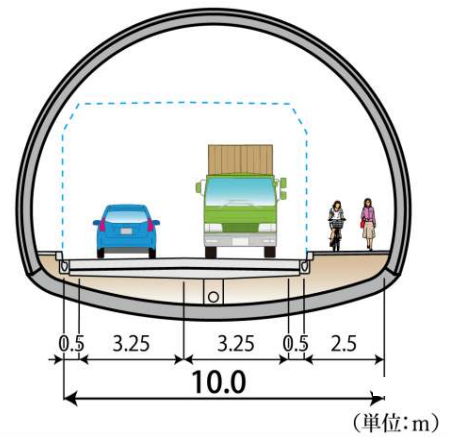
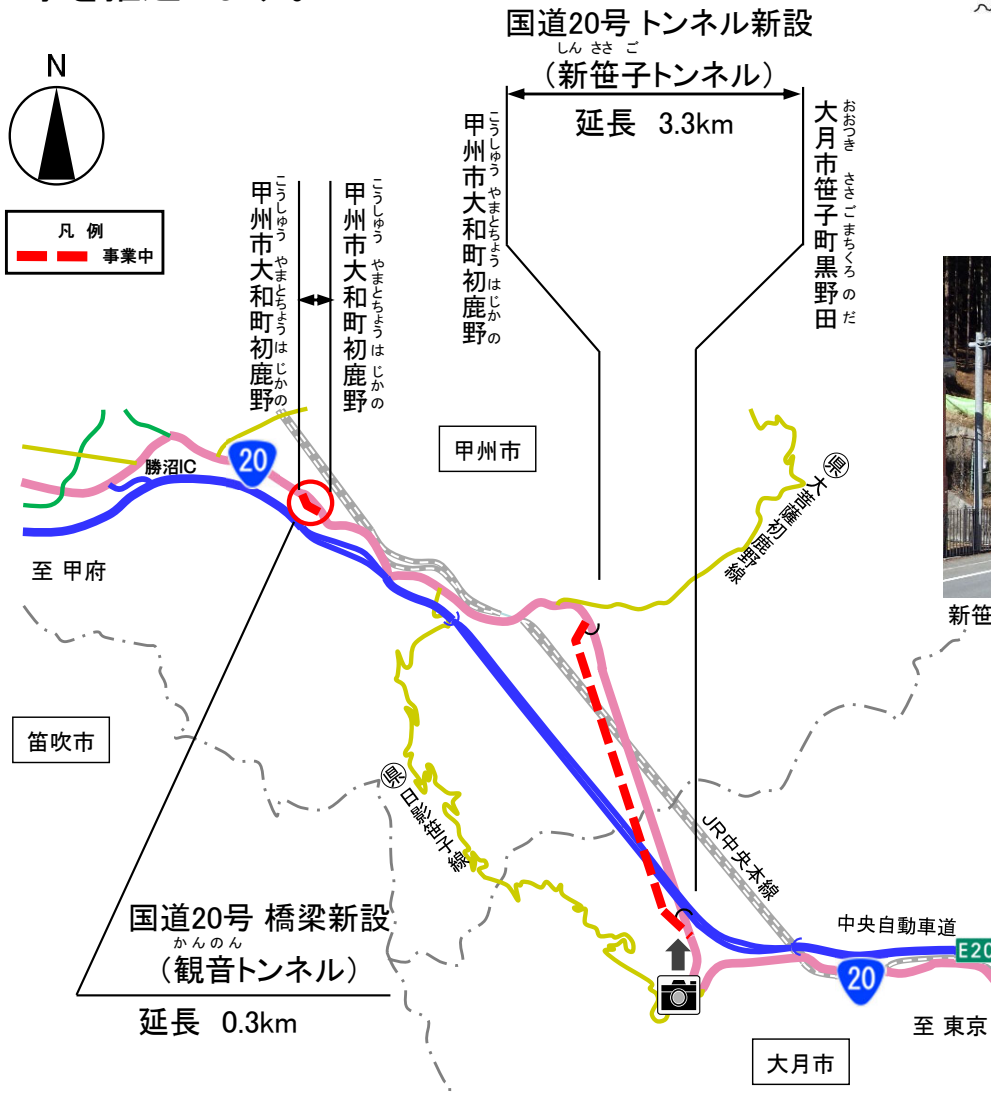
新笹子トンネルについては、別線でトンネルを新設、観音トンネルについては、別線で橋梁を新設する計画としています。

【令和5年度の予定】

引き続き、調査設計、用地買収、改良工事、トンネル工事を推進します。



新笹子トンネル起点側工事状況 令和5年2月撮影



【新笹子トンネルの改修計画断面】

【事業の効果】

- 新笹子トンネル改修が完成することにより、通過交通の安全を確保することができます。
- 背高コンテナ等の大型車の通行も可能になることから、広域物流支援につながることを期待されます。

【事業の概要】

国道20号大月バイパスは、大月市内の市街地の混雑緩和と交通安全の確保を目的とした、大月市駒橋から同市大月町花咲までの延長3.2kmのバイパス事業です。

大月市大月二丁目(国道139号)から大月市大月町花咲(中央自動車道・大月IC)間が令和4年4月23日に開通したことにより、大月バイパスは全線開通しました。

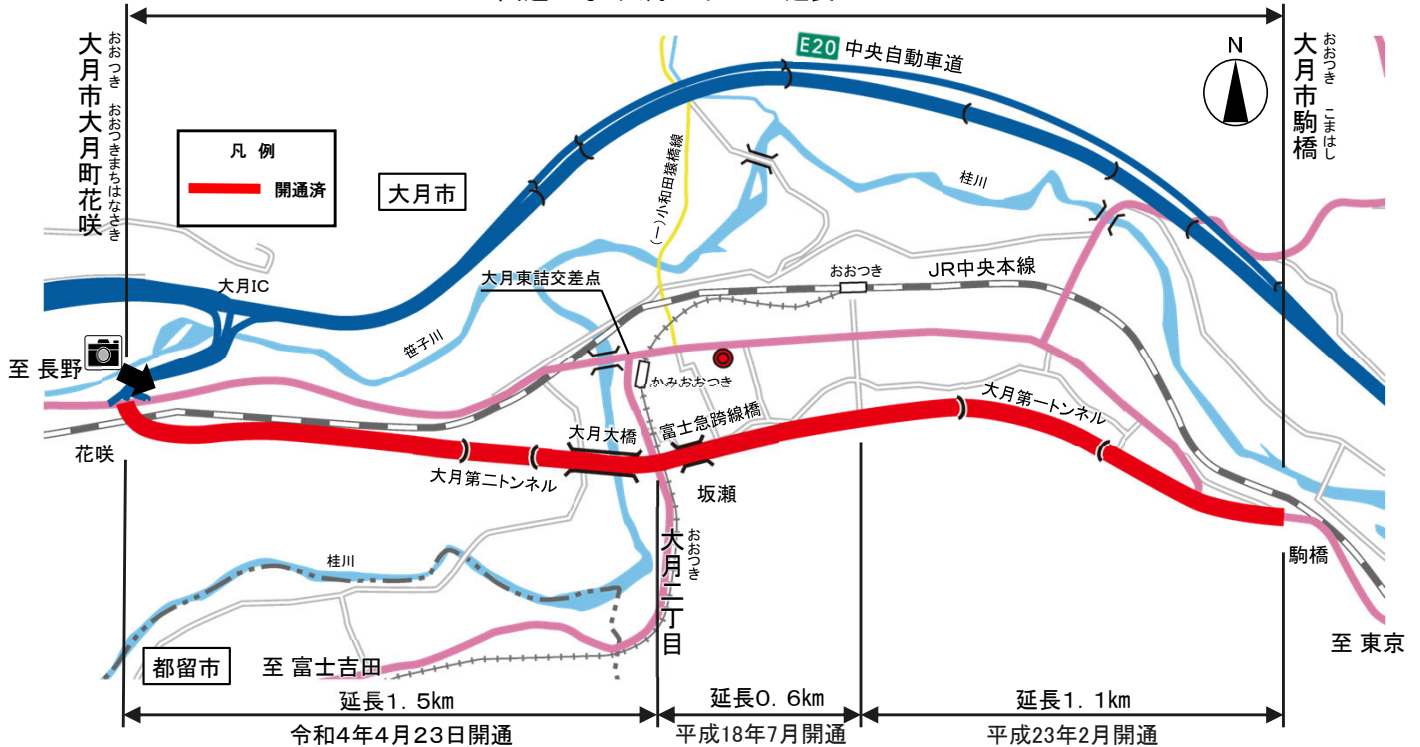


大月バイパス終点部付近 令和4年10月 (八王子方面を望む)

【令和5年度の予定】

引き続き、台帳作成、改良工事を推進します。

おおつき 国道20号 大月バイパス 延長3.2km



【事業の効果】

- 大月市中心部の交通渋滞の緩和、通学路などの交通量減少による安全性の向上などの効果が期待されます。
- 世界遺産の富士山周辺の観光地へのアクセス性の向上が期待されます。

改築事業

国道52号 上石田改良

令和5年度事業費: 1.34億円

【事業の概要】

国道52号上石田改良は、甲府市富竹一丁目から甲府市寿町に至る延長1.0kmの道路拡幅事業です。

平成26年4月21日には、甲府市上石田一丁目から甲府市寿町間の延長0.75kmの4車線化が完了しています。



【令和5年度の予定】

甲府市上石田一丁目から甲府市富竹一丁目に至る延長0.25kmにおいて、調査設計、用地買収、改良工事を推進します。



くがわ 貢川交番前交差点 交通状況 令和5年2月撮影



【事業の効果】

甲府市街地の交通渋滞の緩和、歩道設置等による歩行者の交通安全確保などが期待されます。

【事業の概要】

国道138号新屋拡幅は、富士吉田市上吉田七丁目から富士吉田市上吉田堰林に至る延長2.6kmの道路拡幅事業です。

令和3年11月2日に富士吉田忍野スマートIC入口交差点の改良が完成しています。

【令和5年度の予定】

引き続き、調査設計、用地買収、改良工事、電線共同溝工事を推進します。



① 富士浅間神社前付近の交通状況 令和5年2月撮影



② 富士吉田忍野スマートIC入口交差点の状況 令和5年3月撮影

【事業の効果】

富士吉田市街地の交通渋滞の緩和、歩道整備による歩行者の交通安全確保及び災害時の避難路確保などが期待されます。

改築事業

国道139号 都留バイパス

令和5年度事業費:0.90億円

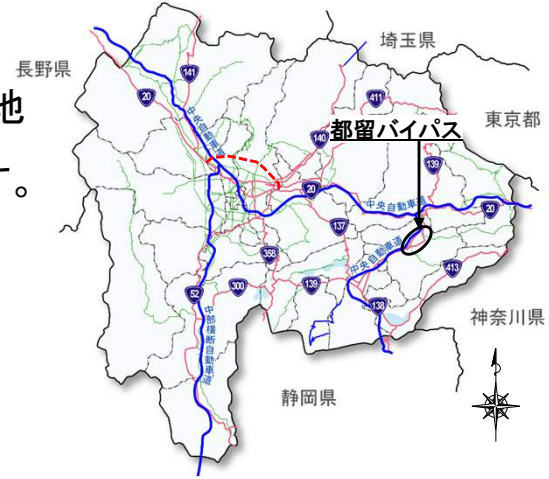
【事業の概要】

国道139号都留バイパスは、都留市十日市場から都留市田野倉に至る延長8.0kmのバイパス事業です。

平成22年度までに、主要地方道都留道志線から主要地方道四日市場上野原線までの延長5.6kmが開通しています。

【令和5年度の予定】

都留市十日市場から都留市上谷六丁目、都留市井倉から都留市田野倉の一部区間において調査設計、改良工事を推進します。



たはら田原地区の歩車分離完成 令和4年2月撮影

【事業の効果】

都留バイパスの整備により交通の転換が図られ、国道139号(現道)の混雑緩和、交通事故の減少が期待されます。

改築事業

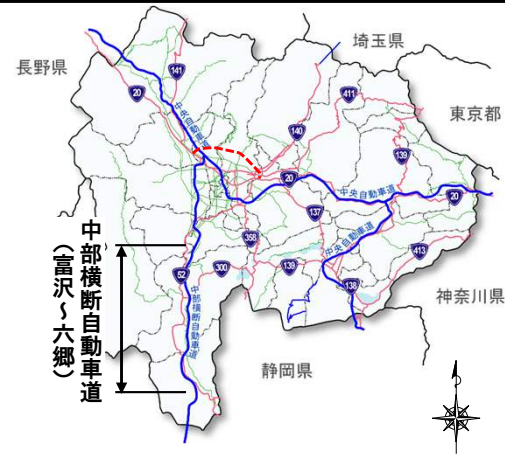
ちゅうぶ おうだん ちみざわ ろくごう 中部横断自動車道(富沢～六郷)

令和5年度事業費:7.50億円

【事業の概要】

ちゅうぶ おうだん しずおか
中部横断自動車道は、静岡県静岡市を起点とし、山梨
かい かい かい
県甲斐市を經由し長野県こもろ
小諸市に至る延長約130km
の高速自動車国道です。

山梨県区間のとみざわ ろくごう
富沢ICから六郷ICの28.3kmについて
は、平成17年度より直轄高速事業として着手し、なんぶ
南部IC
からしもべ おんせん はやかわ
下部温泉早川IC間が令和3年8月29日に開通した
ことにより、全線開通しました。



南部IC付近 令和4年10月撮影

【令和5年度の予定】

引き続き、調査設計、改良工事を推進します。



【事業の効果】

- 東海地震等による広域的な災害時の救急・救援ルートとして機能します。
- 地域間をつなぐ高速道路ネットワークの形成が図られ、広域的な物流体系や観光周遊ルートの形成などにより、地域を支える産業・雇用等の創出に寄与します。

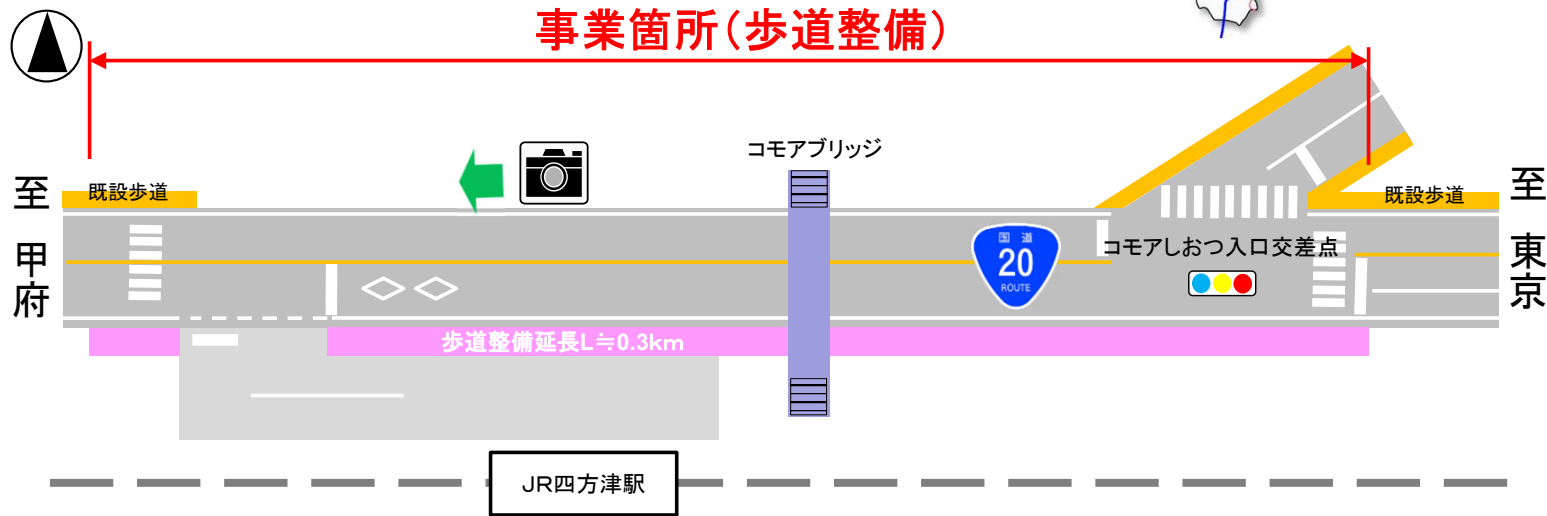
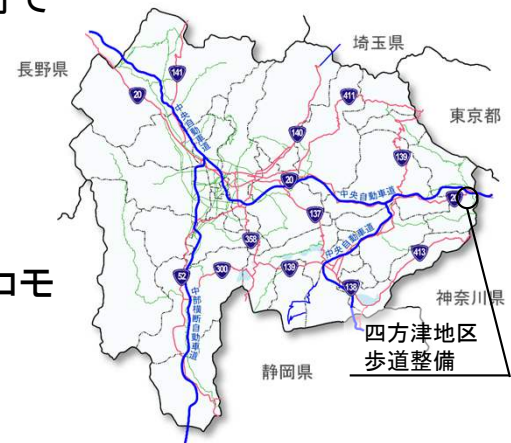
【事業の概要】

当該箇所は、国道20号の上野原市四方津地区のJR四方津駅前^{しおつ}に位置し、近傍には、上野原市立西小学校が立地し、上野原市バリアフリー基本構想で重点整備地区に位置づけられている区間です。また、通学路に指定されていますが、歩道が未整備であり、歩行者の安全性が確保されていない状況です。

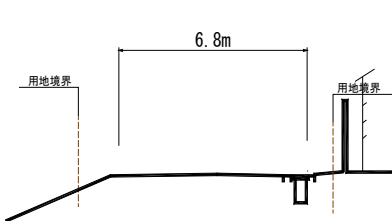
本事業は、歩道新設を行い、歩行者が安全・安心に通行できる歩行空間の確保を行うものです。

【令和5年度の予定】

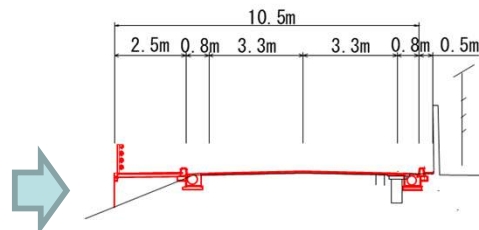
引き続き、調査設計、用地買収及びJR四方津駅前からコモアブリッジ間について工事を推進します。



現況



計画



【事業の効果】

当該箇所に歩道が整備されることにより、歩行者等の安全・安心の向上が期待されます。



歩道未整備状況
[2015年3月撮影]

【事業の概要】

当該箇所は、国道20号の^{おおつき}大月市^{はつかり}初狩地区に位置し、家屋が連担している地域ですが、歩道が未整備であり、歩行者の安全性が確保されていない状況です。

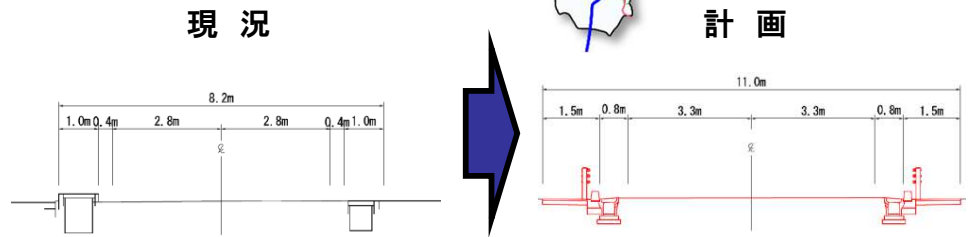
本事業は、歩道の新設及び拡幅を行い、歩行者が安全・安心に通行できる歩行空間の確保を行うものです。

【令和5年度の予定】

引き続き、調査設計、用地買収及び工事を推進します。



歩道未整備状況
[2014年3月撮影]



事業箇所(歩道整備)



【事業の効果】

当該区間に歩道が整備されることにより、歩行者の安全・安心の向上が期待されます。

国道20号 ひとつや 一ツ谷交差点改良

令和5年度事業費:1.10億円

【事業の概要】

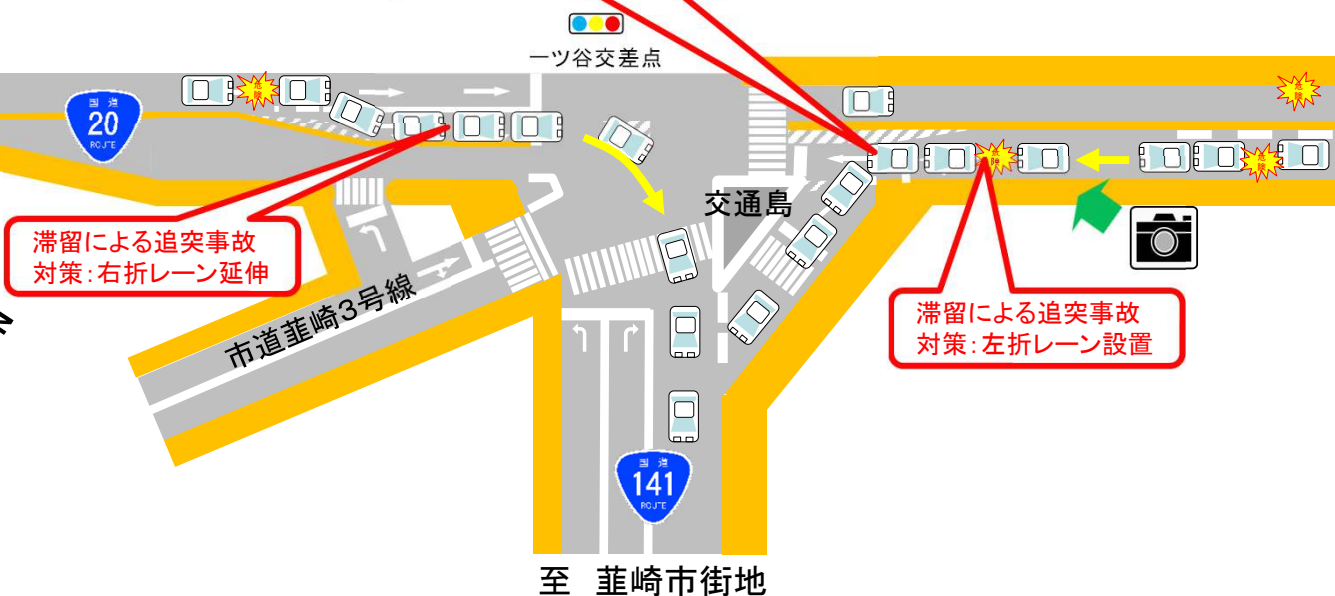
当該箇所は、国道20号にらさき 一ツ谷地先ひとつやに位置し、国道20号から国道141号にらさき 葦崎IC方面へ右左折する車両が多く、直進車両の進行を阻害している交差点であり、車両の滞留による追突事故が多発しています。

本事業は、左折路の新設及び右折レーンの延伸を実施し、車両の渋滞の緩和を行い、追突事故の低減を図るものです。



[令和4年3月撮影]

左折車両が続くと直進が阻害され渋滞の原因となる
対策: 左折レーン設置



【令和5年度の予定】

調査設計、用地買収及び工事を推進します。

【事業の効果】

交差点形状の見直しを行うことにより、事故発生を軽減し、安全性の向上が期待されます。

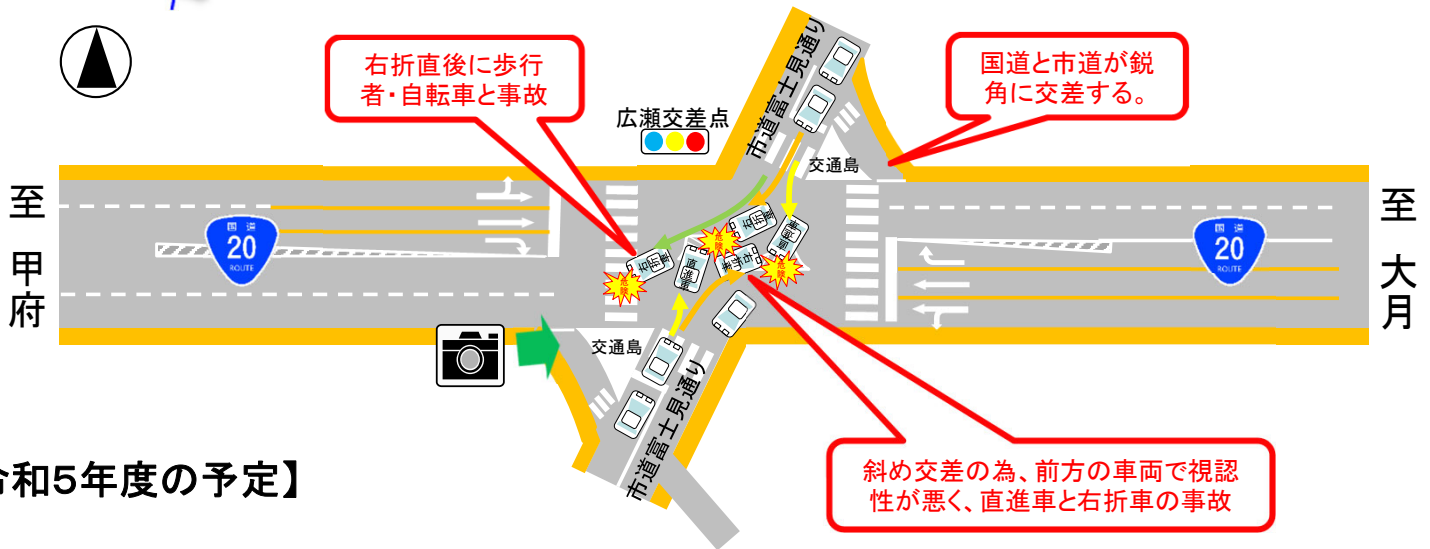
【事業の概要】

当該箇所は、国道20号^{ふえ ふき いさわ ひろせ}笛吹市石和町広瀬地先に位置し、国道20号と市道^{ふじみ}富士見通りが斜めに交差しており、右左折時の視認性が悪く横断する自転車との接触事故が多発しています。また、斜め交差の影響で本線の停止線間が大きく、停止線付近での追突事故が発生している状況です。

本事業は、横断歩道や停止線の位置を前出しし、交差点のコンパクト化、視認性の向上を図る他、路面表示による走行車両への注意喚起や、右折時の走行軌跡の改善を行うものです。



[令和4年3月撮影]



【令和5年度の予定】

調査設計、工事を推進します。

【事業の効果】

交差点形状の見直しを行うことにより、事故発生を軽減し、安全性の向上が期待されます。

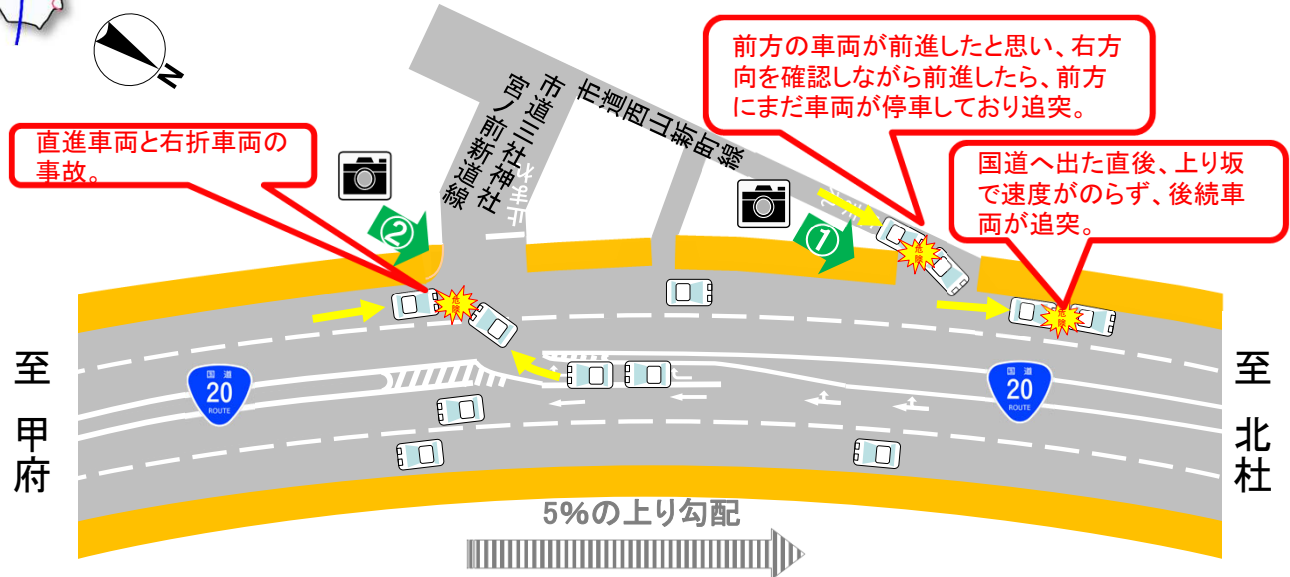
【事業の概要】

当該箇所は、国道20号甲斐市竜王地先に位置し、国道20号と甲斐市道2路線が近接する交差点で、市道から国道下り線への合流は、国道が上り勾配で、かつ北側交差点は鋭角で交差しており、追突事故が多発しています。

本事業は、交差点の集約化、右折レーンの延伸を実施し、事故対策を図るものです。



[令和4年3月撮影]



【令和5年度の予定】

調査設計、工事を推進します。

【事業の効果】

交差点形状の見直しを行うことにより、事故発生を軽減し、安全性の向上が期待されます。

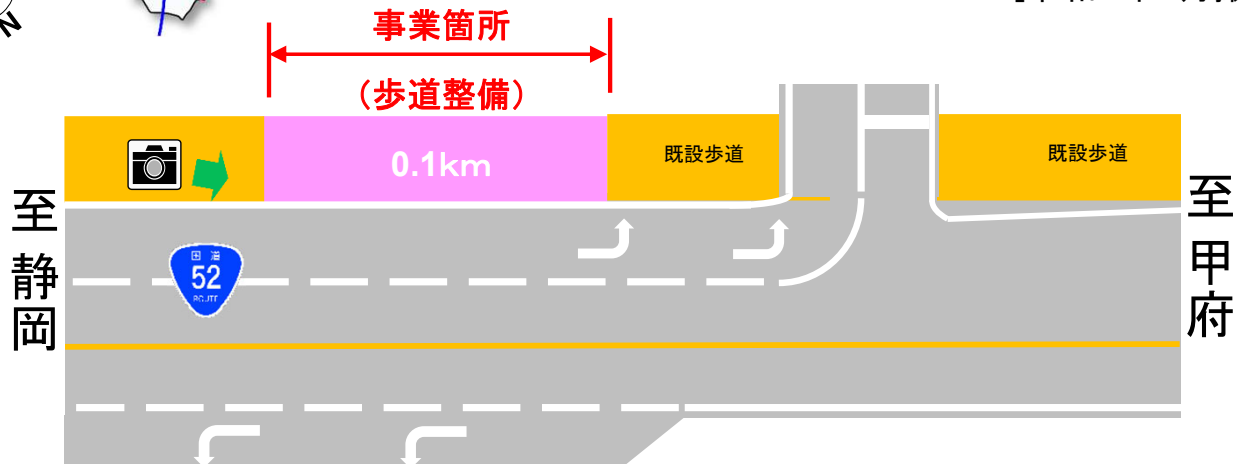
【事業の概要】

当該箇所は、国道52号南巨摩郡南部町万沢地区に位置し、前後は歩道が整備されている区間ですが、歩道が未整備であり、大型車両が通過する真横を歩行者が通行するなど危険な状況です。また近年は登山を行う目的で、当該箇所を利用する歩行者が増加傾向となっています。

本事業は、歩道を新設することにより、安全で安心な歩行空間を確保するものです。



[令和4年3月撮影]



【令和5年度の予定】

調査設計を推進します。

【事業の効果】

当該箇所に歩道が整備されることにより、歩行者の安全・安心の向上が期待されます。

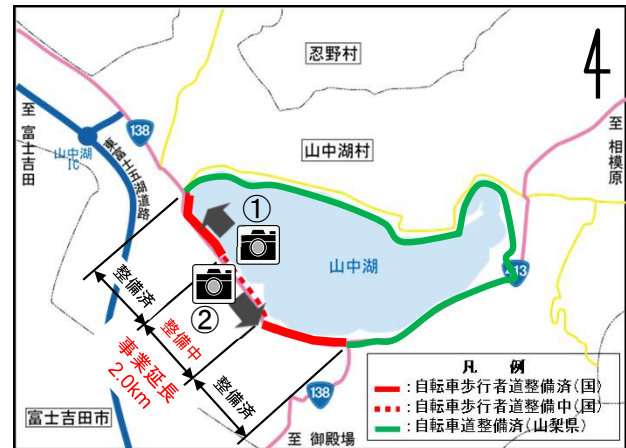
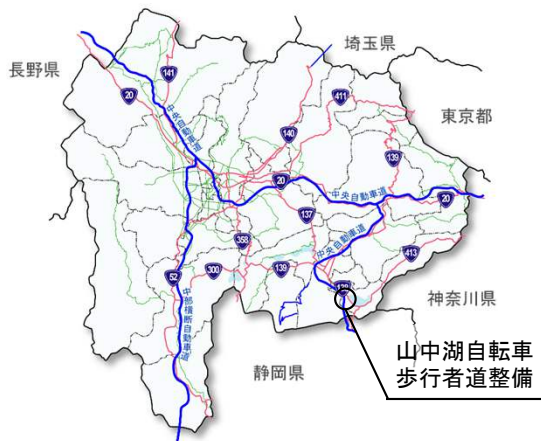
交通安全事業 国道138号 やま なか こ 山中湖自転車歩行者道整備

令和5年度事業費:0.60億円

【事業の概要】

みなみつる やま なか こ
南都留郡山中湖村の山中湖畔を一周するサイクリングロードにおいて、一部未整備となっている国道区間があり、自転車及び歩行者が国道を通行する自動車と併走しており、安全が確保されていない状況です。

本事業は、自転車歩行者道の新設を行い、自転車利用者及び歩行者が安全・安心に通行できる空間の確保を行うものです。



出典:国土地理院地図



①整備済み区間
[2021年10月撮影]



②交通状況(未整備区間)
[2018年4月撮影]

【令和5年度の予定】

引き続き、調査設計、工事を推進します。

【事業の効果】

- 当該区間に自転車歩行者道が整備されることにより、歩行者、自転車の安全性向上が期待されます。
- やま なか こ 山中湖を一周するサイクリングロードが完成し、周遊観光のネットワークが形成されます。

【事業の概要】

当該箇所は、国道138号南都留郡山中湖村山中に位置し、周辺には山中湖があることから観光シーズンには多くの観光客が訪れる地区です。国道138号下り線については、前後区間の歩道は整備されていますが、当該箇所には歩道が設置されておらず、観光客が車道を歩いているなど危険な状況です。

本事業は、歩道を新設することにより、安全で安心な歩行空間を確保するものです。



【令和5年度の予定】

調査設計を推進します。

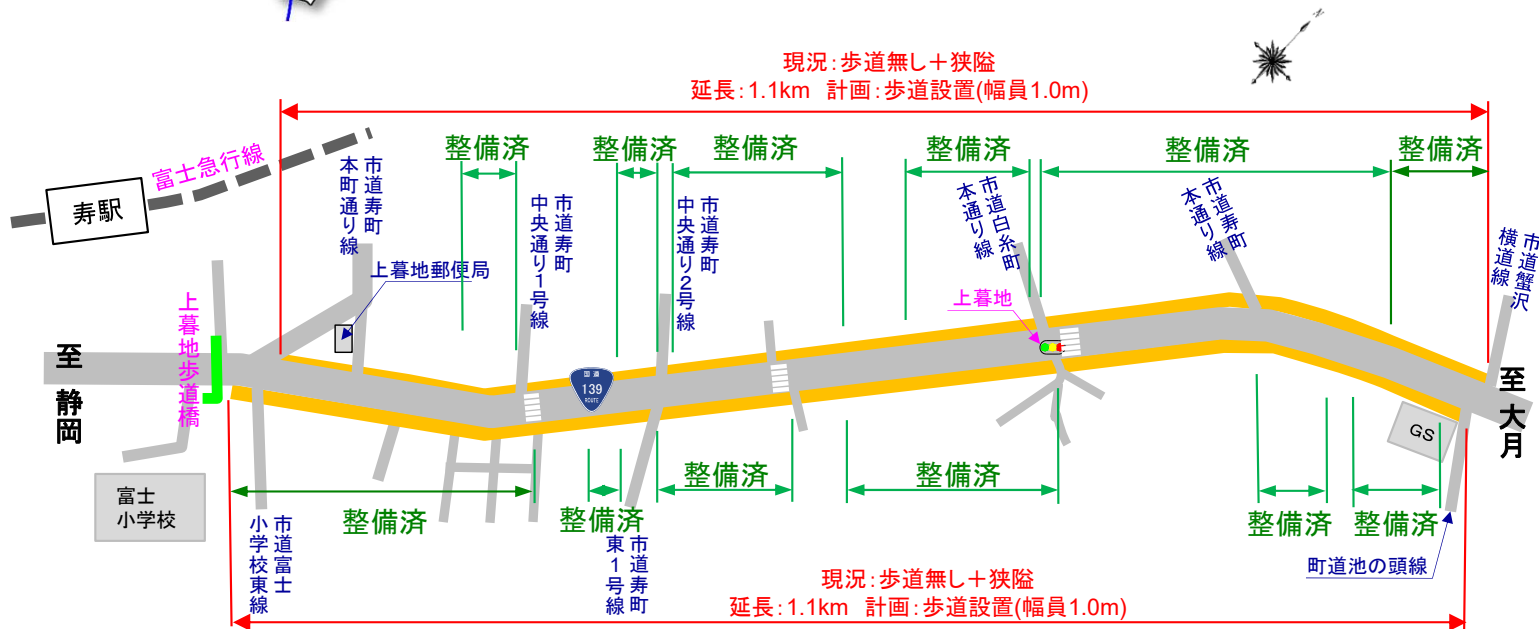
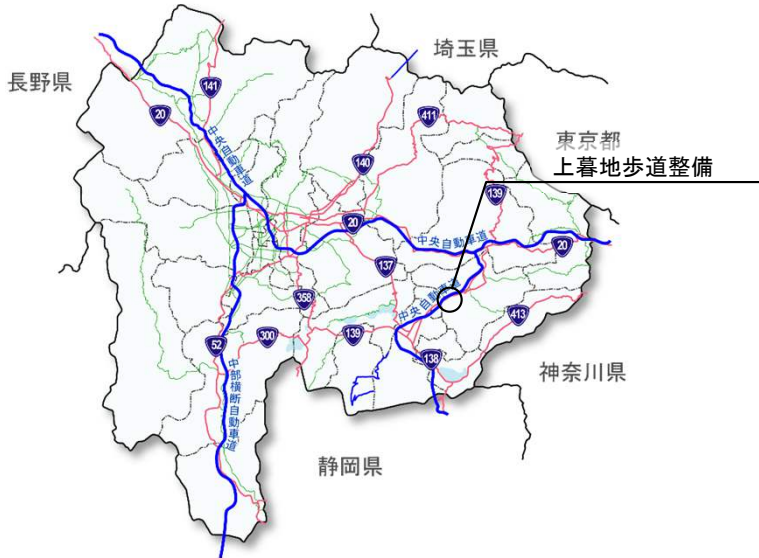
【事業の効果】

当該箇所に歩道が整備されることにより、歩行者の安全・安心の向上が期待されます。

【事業の概要】

当該箇所は、国道139号富士吉田市内の歩道未設置の区間です。大型車両やバスの通行が多い状況です。また、平成29年～令和2年の事故発生状況は追突事故が5件、人対自動車事故が3件、自転車対自動車事故が1件と歩行者及び自転車の安全が確保されていない状況です。

本事業は、歩行者及び自転車の安全性を確保するため、歩道整備を行うものです。



【令和5年度の予定】

調査設計、用地買収を推進します。

【事業の効果】

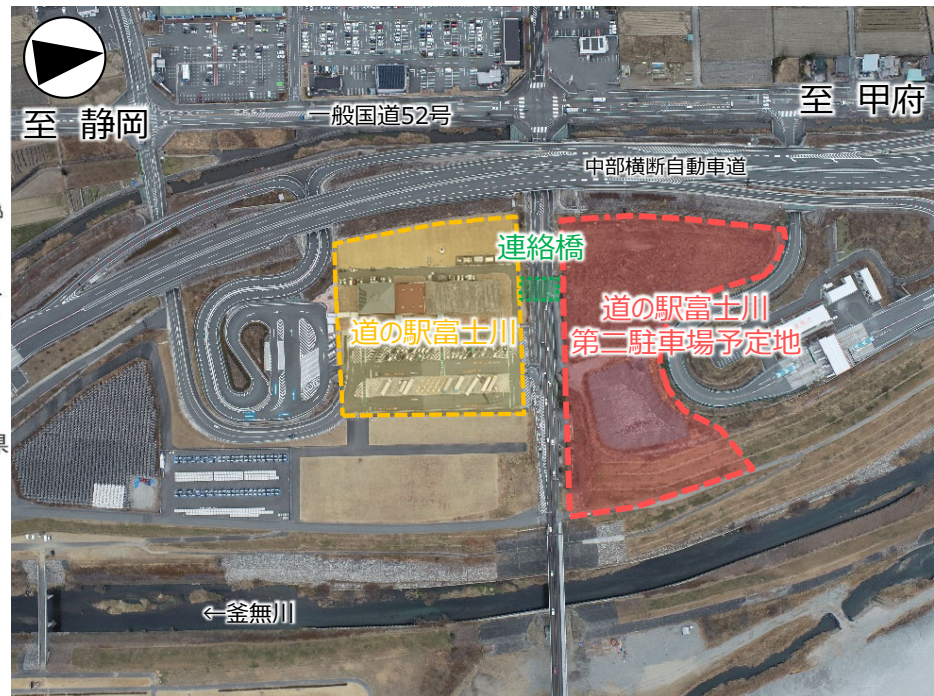
当該箇所に歩道が整備されることにより、歩行者等の安全・安心の向上が期待されます。

【事業の概要】

当該箇所の道の駅「富士川」は、南巨摩郡富士川町青柳地内に位置し、増穂地区河川防災ステーション、中部横断自動車道増穂パーキングエリアと一体的に整備された道の駅で、国道52号や中部横断自動車道から直接アクセス可能となっております。

現在、道の駅「富士川」は、中部横断自動車道（山梨－静岡間）の開通に伴う利用者の増加や、「防災道の駅」の選定により、広域的な防災拠点としても更なる機能強化のニーズが高まっている状況です。

本事業は、駐車スペース増設及び連絡橋の整備を行い、道の駅としての機能強化を図るものです。



[令和4年2月撮影]

【令和5年度の予定】

調査設計を推進します。

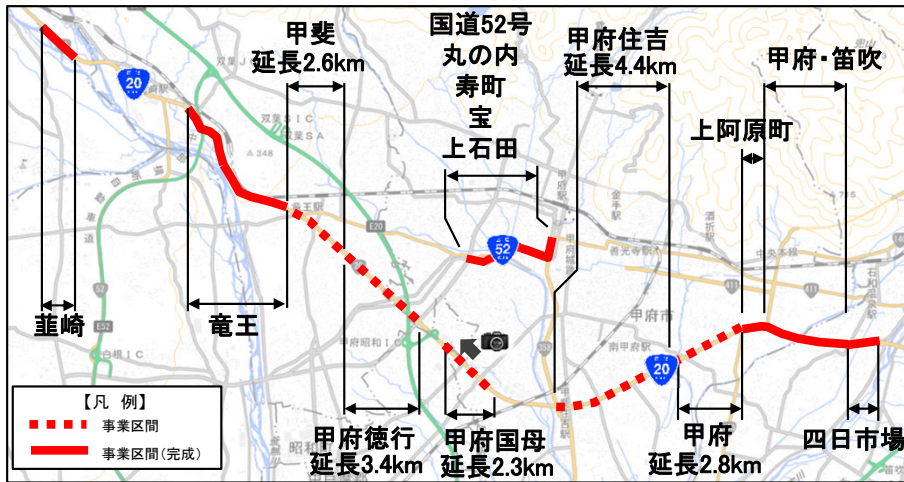
【事業の効果】

駐車スペース増設により、駐車場の混雑緩和と防災機能強化が期待されます。

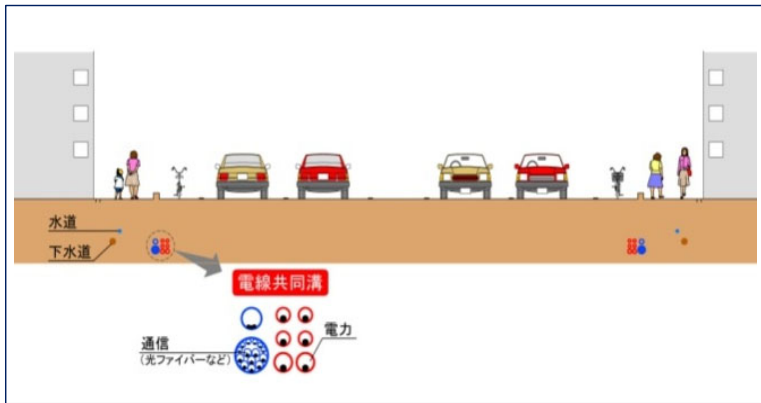
【事業の概要】

山梨県の中核都市である甲府市を中心に隣接する^{こうふ} 甲斐市・^{ふえふき} 甲斐市・及び^{かい} 甲斐市・^{にらさき} 及び^{にらさき} 韮崎市の国道20・52号において、市街地やその周辺地区の経済活動・防災対応の拠点となるエリアを無電柱化することにより、安全で快適な歩行空間の確保並びに災害時における緊急輸送道路の確保を図るとともに、良好な都市景観の形成に向けたまちづくりを支援するものです。

■ 甲府圏域エリアの整備状況



■ 電線共同溝の整備イメージ



■ 状況写真(国母電線共同溝)



道路沿いの電柱・電線類 [令和5年2月撮影]

【事業の効果】

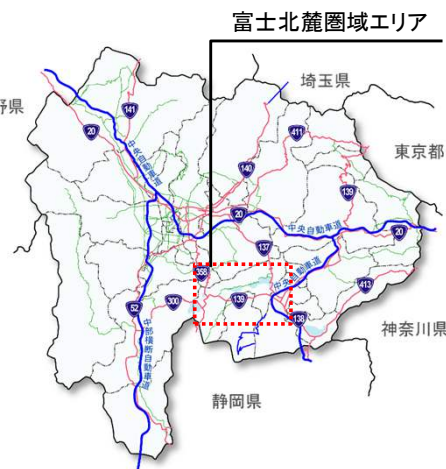
電線共同溝の整備により、道路の防災性の向上、安全で快適な歩行空間の確保、良好な景観の形成等に寄与することが期待されます。

【令和5年度の予定】

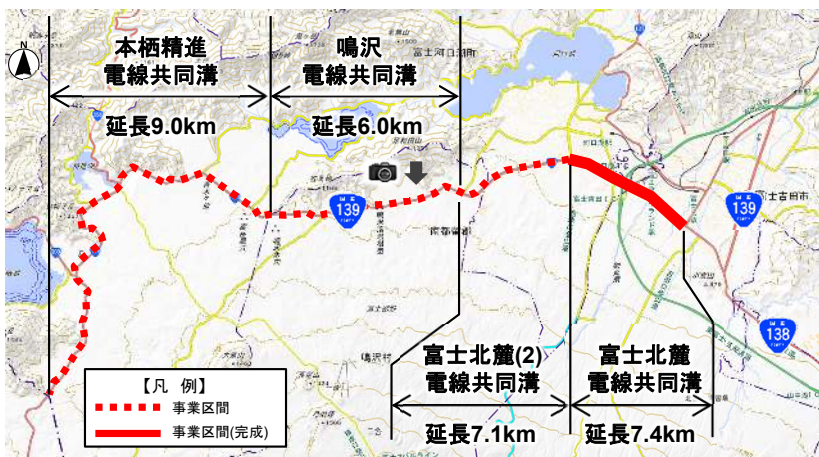
箇所名	事業内容
国道 20号 甲府電線共同溝	本体工事(引込連系管路工事等を含む)を推進
国道 20号 甲府住吉電線共同溝	調査設計、本体工事(引込連系管路工事等を含む)を推進
国道 20号 甲府国母電線共同溝	調査設計、本体工事(引込連系管路工事等を含む)を推進
国道 20号 甲府徳行電線共同溝	本体工事(引込連系管路工事等を含む)を推進
国道 20号 甲斐電線共同溝	本体工事(引込連系管路工事等を含む)を推進

【事業の概要】

国道139号、山梨県南都留郡河口湖町本栖(静岡県境)～南都留郡鳴沢村～富士吉田市上吉田間において電線共同溝を整備するもので、富士北麓地域の景観の向上及び、安全で快適な歩行空間の確保並びに災害時における緊急輸送道路の確保を図るものです。



■富士北麓圏域エリアの整備状況



■状況写真



富士山の眺望を阻害する電柱電線類 [令和5年2月撮影]

【事業の効果】

電線共同溝の整備により、道路の防災性の向上、安全で快適な歩行空間の確保、良好な景観の形成等に寄与することが期待されます。

【令和5年度の予定】

箇所名	事業内容
国道139号 本栖精進電線共同溝	調査設計、本体工事(引込連系管路工事等を含む)を推進
国道139号 鳴沢電線共同溝	調査設計、本体工事(引込連系管路工事等を含む)を推進
国道139号 富士北麓(2)電線共同溝	本体工事(引込連系管路工事等を含む)を推進

道路維持管理(日常の管理)

【日常管理】

一般交通に支障をきたさないよう道路を常時良好な状態に保ち、道路利用者などに対して安全で円滑な交通を確保するために、道路巡回、道路清掃、除草、及び樹木の剪定・伐採などの各作業を実施します。

また、除雪については、関係機関と連携しながら、必要に応じて災害対策基本法に基づく指定区間の通行止めや車両移動等を行い、着実かつ効率的な除雪作業を実施します。



道路巡回状況



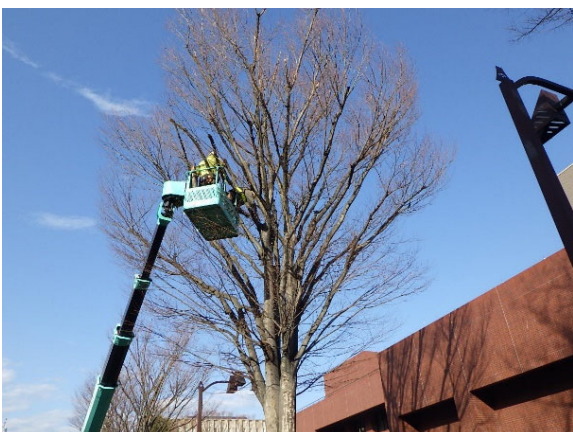
道路清掃作業状況



除草作業状況



除雪作業状況



樹木剪定状況



緊急対応状況(落下物処理)

令和5年度の道路調査の見通しについて(ネットワーク)

「令和5年度関東地方整備局関係予算の概要について」山梨県該当部分を抜粋

個別路線の事業化に向けて、ルート・構造検討に係る調査等を進めます。
主な調査箇所は、下記の通りです。

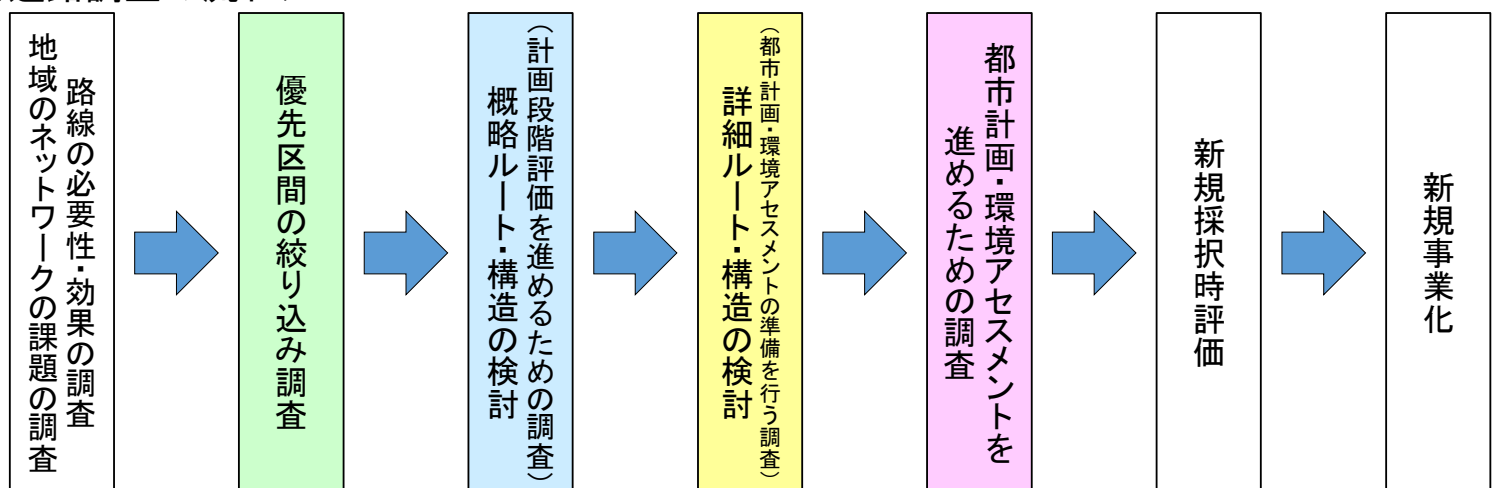
【主な調査箇所】

都市計画・環境アセスメントを進めるための調査

山梨県・長野県 ちゅうぶ 中部横断自動車道 ながさか やちほ 長坂～八千穂

- 近年の激甚化する自然災害の状況を踏まえ、中央道軸の機能強化を検討するとともに、管内の事前通行規制区間については、解消に向け課題の整理やデータ収集・分析などの基礎的な調査を実施します。
- その他の未整備区間についても、当該地域の交通状況、社会経済状況や道路網の課題等を調査し、優先区間の検討や道路網の中での必要性・整備効果の整理等を進めます。
- さらに、渋滞や交通安全など、地域における道路交通に関する課題、サービスレベルを把握するためのデータ収集・分析等を行うとともに、路線の必要性、緊急性、妥当性に関する基礎的な調査を実施します。

<道路調査の流れ>



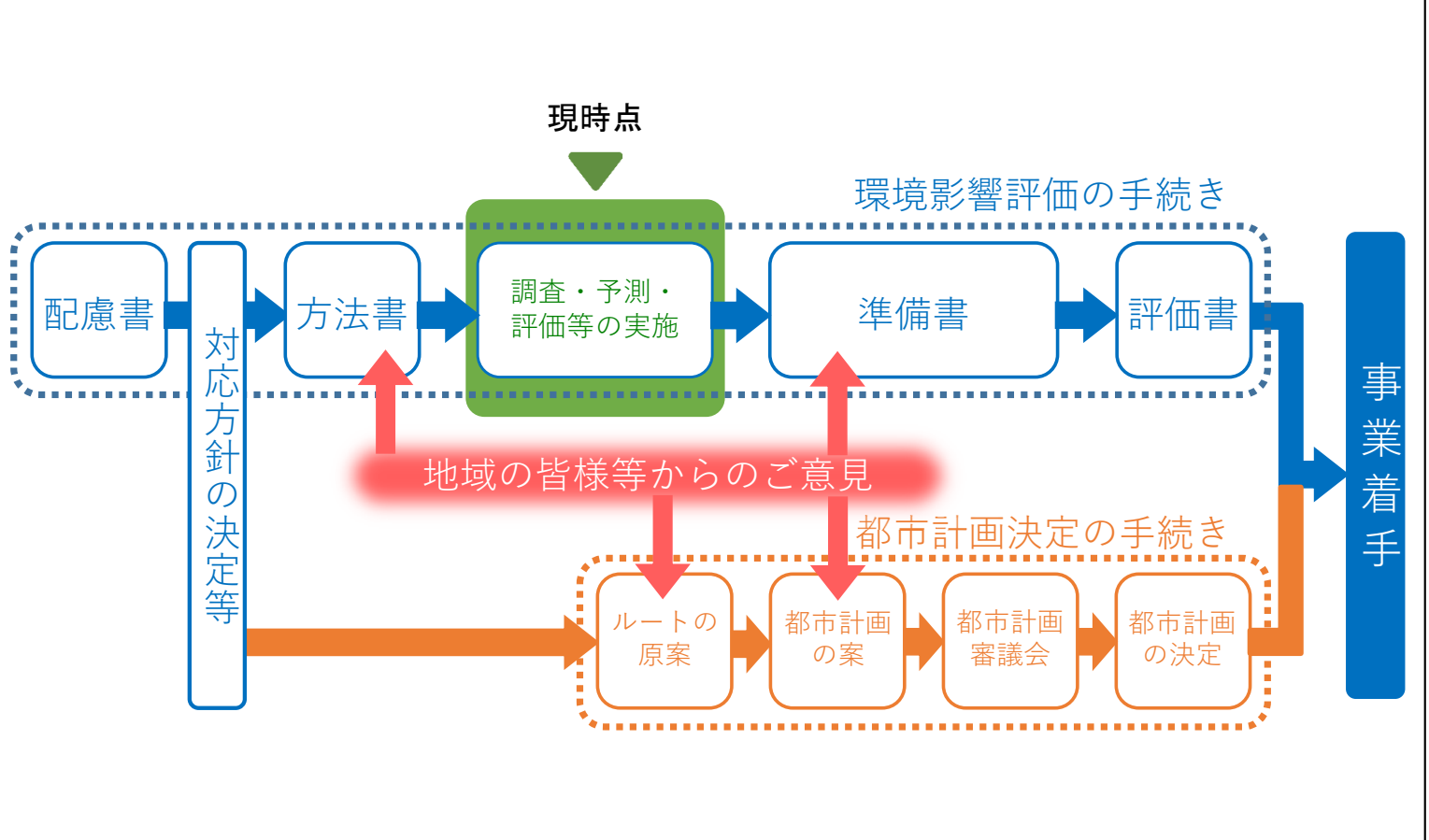
中部横断自動車道(長坂～八千穂)【調査中】

- 中部横断自動車道の長坂～八千穂間については、令和元年8月に山梨県及び長野県が環境影響評価方法書の公告・縦覧を実施。
- 令和4年度は、都市計画及び環境影響評価の手続きに必要な詳細ルートを検討や環境調査を実施中。

【1kmルート帯及びICの概略位置】



【環境影響評価・都市計画手続きの流れ】



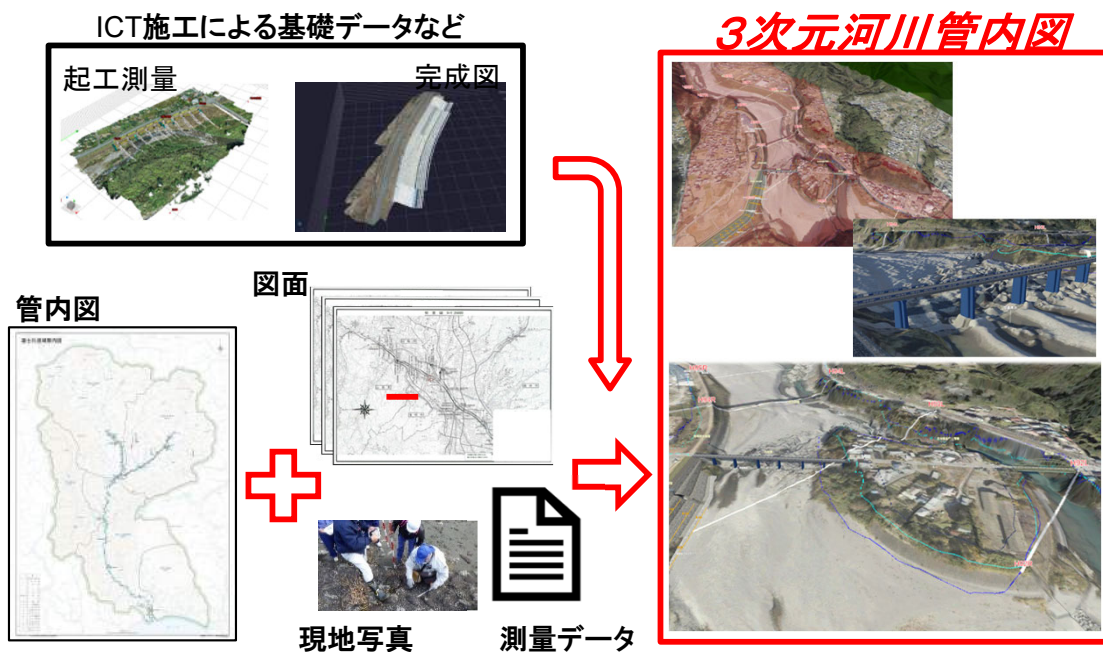
インフラDX(河川事業)

河川管理の効率化・高度化を目的とした取り組みを実施しています。

各資料から統合化へ～3次元河川管内図～

従来、情報ごとに整理されていた構造物等の諸元や範囲のデータを統合化した3次元河川管内図の整備に取り組んでいます。

3次元河川管内図にはデータを可視化する「閲覧機能」、「GIS 機能」、「検索機能」が備わっており、様々な情報を一括管理することができます。

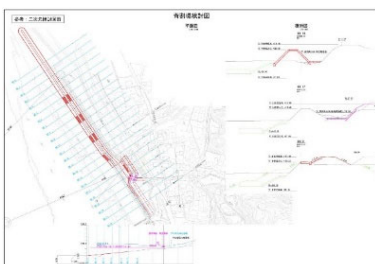


検討業務における3次元データの活用

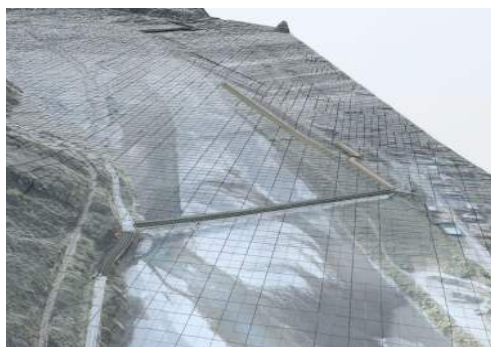
従来は2次元のデータであった検討を3次元データを扱うことにより、現地条件を踏まえた流出解析や堤防位置・護岸構造の確認を詳細に実施することが出来る。

また、視覚的に分かりやすく表現することができるため、地元説明や関係調整等において効果的な資料とすることが出来る。

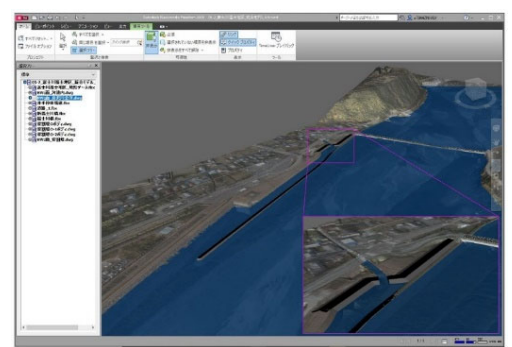
従来の2次元平面図



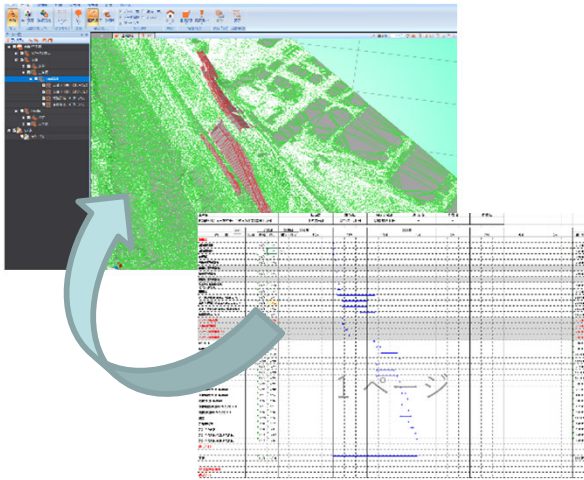
3次元モデル



3次元で表現した検討図

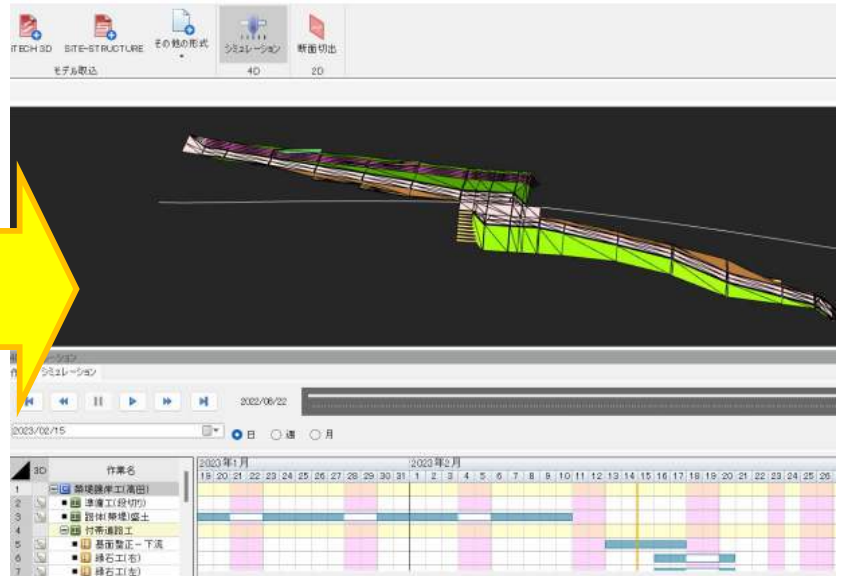


3次元データを活用した工程管理



点群データに工程表を付随させる

3次元設計データに工程表を
属性情報として持たせる。



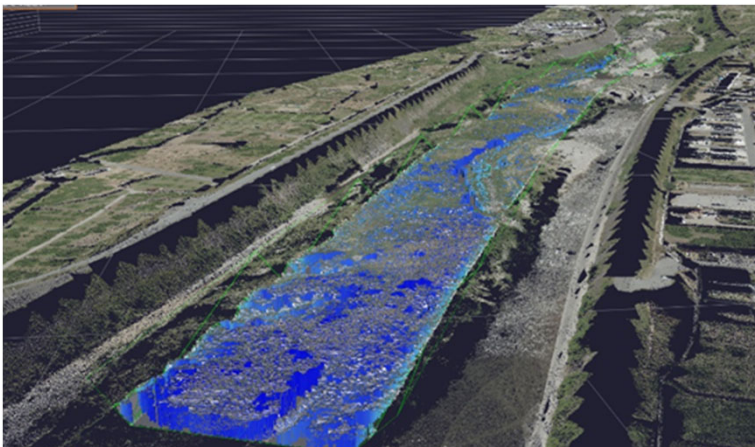
工種ごとに掛かる日数といった、全体的な
工程バランスを把握しやすくなります。

ICT建設機械による施工

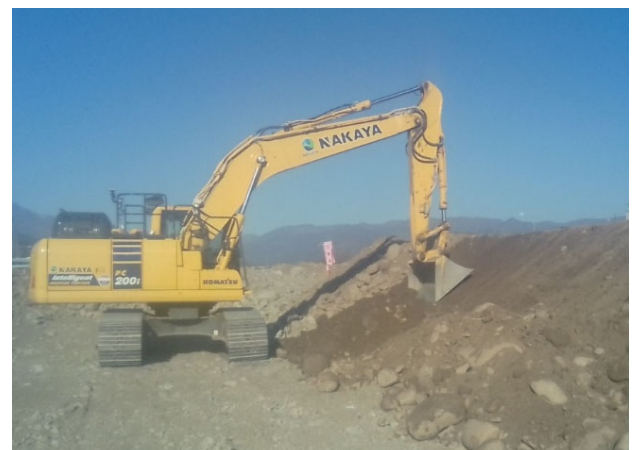
ICT建設機械を活用することは、丁張りの設置が不要となるため作業の効率化だけでなく、一定以上の品質確保や安全性の観点からも有効です。

3次元モデルを活用することで平面的な図面とは違い、掘削時の断面形状や直接は見る事が出来ない細部まで確認が容易になります。また、受発注者双方において計画段階からより正確な施工イメージを共有することで最適な現場管理に反映することが可能となります。

河道整正工施工箇所の3次元設計データ



ICT建設機械による法面整形状況

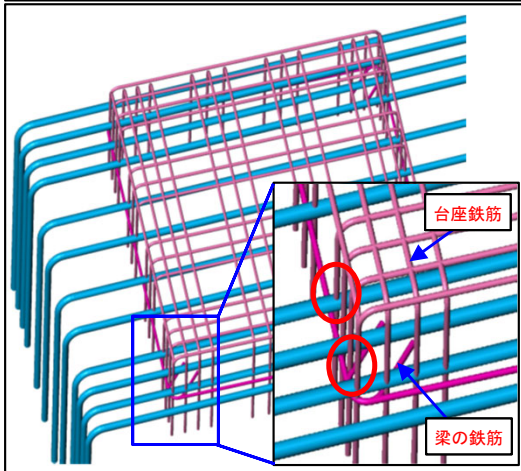


インフラDX(道路事業)

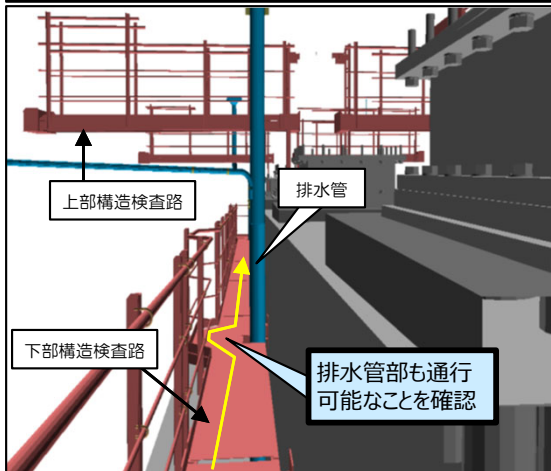
～建設生産・管理システム全体の生産性向上に向けて～

【設計の取組】 3次元CIMモデルの作成・活用

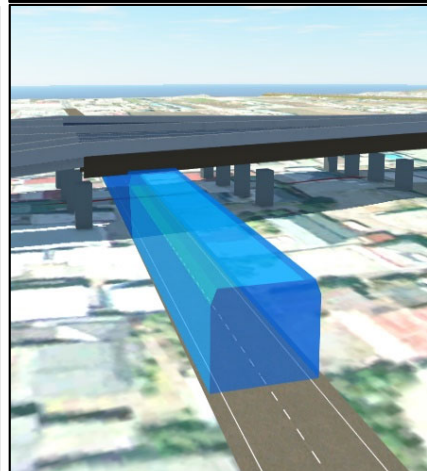
配筋の干渉確認



維持管理性の確認(検査路の動線確認)



交差道路との建築限界確認



施工条件の確認(架設時の俯角確認)



施工条件の確認(重機配置の検討)



【施工→管理の取組】 管理用3次元CIMモデルへの3次元点検結果の格納試行

管理用3次元CIMモデルの作成イメージ

設計及び施工の属性情報格納した3次元モデルに管理の属性情報を付与

3次元モデル

属性情報 (設計)

- ・部材情報
- ・規格

等

属性情報 (施工)

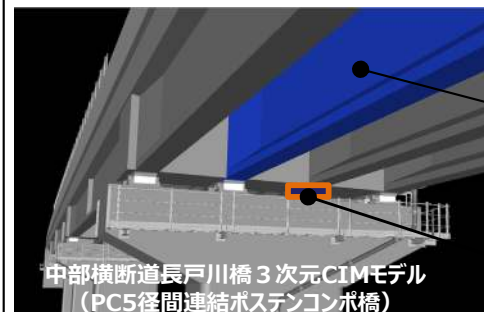
- ・品質試験結果
- ・材料試験結果
- ・出来形成果表

等

属性情報 (管理)

- ・点検結果

等



中部横断面長戸川橋 3次元CIMモデル (PC径間連結ポステンコンボ橋)

A1-P1径間 G2桁

- ・属性情報 (設計)
- ・属性情報 (施工)
- ・属性情報 (管理)

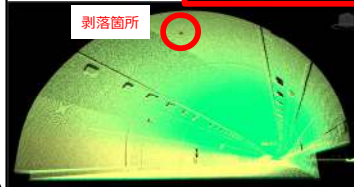
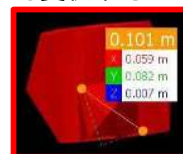
支承P1L-3

- ・属性情報 (設計)
- ・属性情報 (施工)
- ・属性情報 (管理)

3次元CIMモデルへの点検結果の格納イメージ

3次元点検結果

点群データによる変状確認



画像処理によるひび割れ検出



出典: FUJIFILM

3次元変換

＋重ね合わせ

3次元CIMモデル



地域防災の取り組み

【TEC-FORCE（緊急災害対策派遣隊）】

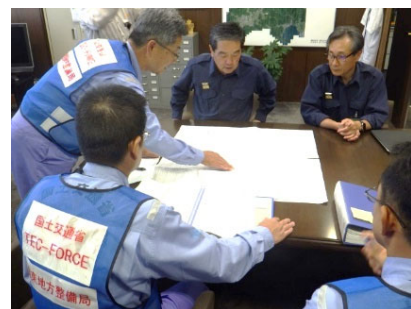
TEC-FORCEは、大規模自然災害が発生、又は発生するおそれがある場合に、地方公共団体等が行う災害応急対策に対する技術的な支援を円滑かつ迅速に実施することを目的としたものです。

国土交通省、国土技術政策総合研究所、国土地理院、地方整備局、気象庁に設置され、大規模自然災害が発生したときは、被災地にTEC-FORCEを派遣し、被害状況の調査、被害の拡大防止、早期復旧に関する地方公共団体の支援を行います。

甲府河川国道事務所では、平成30年2月の福井県豪雪及び平成30年7月中国・四国豪雨では、被災地にTEC-FORCE隊員を派遣し支援を行いました。



被災状況調査(土砂崩落)



被災状況報告

【災害対策用機械】 甲府河川国道事務所に配備

甲府河川国道事務所には、以下の災害対策用機械が配備されています。

令和元年10月の台風19号では、排水ポンプ車等の派遣を行いました。

災害対策用機械は、地方公共団体の要請により貸付が可能です。年に1度の頻度で、災害時対応職員及び甲府河川国道事務所災害協力協定会社と合同の操作訓練を行っています。

照明車（2台）



照明灯
1,200w×6灯 1台
2,000w×6灯 1台

- ・夜間作業現場及び避難所を照明
- ・発電機を装備し、電源供給も可

対策本部車（1台）



約20m²の
作業スペース
(10名程度収容)

- ・対策本部として情報収集、復旧作業の指揮、対策検討、他機関との連絡の拠点

待機支援車（1台）



最大6名分の
仮眠ベッドを確保

- ・収納式ベッド、トイレ等を装備
- ・休憩、仮眠施設として機能

通信衛星車（1台）



- ・災害現場における通信手段の確保や情報を収集
- ・山間部等の通信困難地域でも対応が可能

排水ポンプ車（1台）

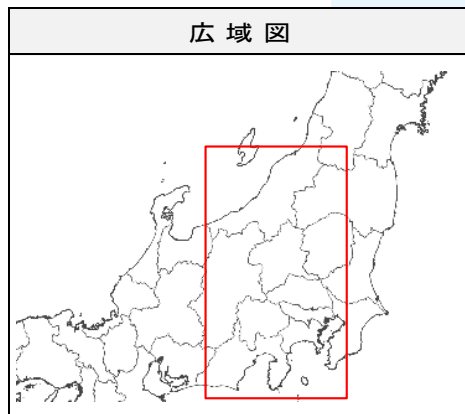


排水能力
30m²/min 3台
60m²/min 1台



- ・市街地等にたまった水を河川へ排水

中部横断自動車道の概要



上信越自動車道

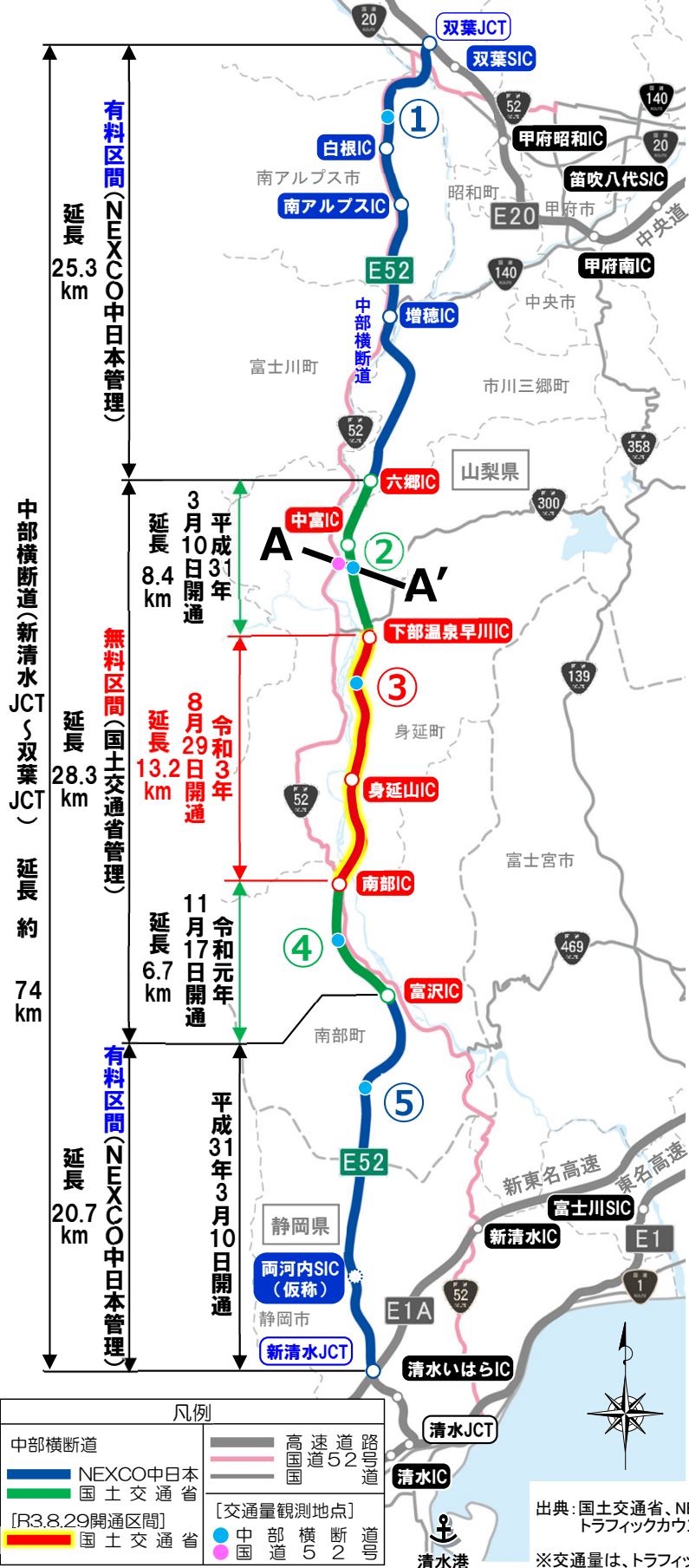
中部横断自動車道



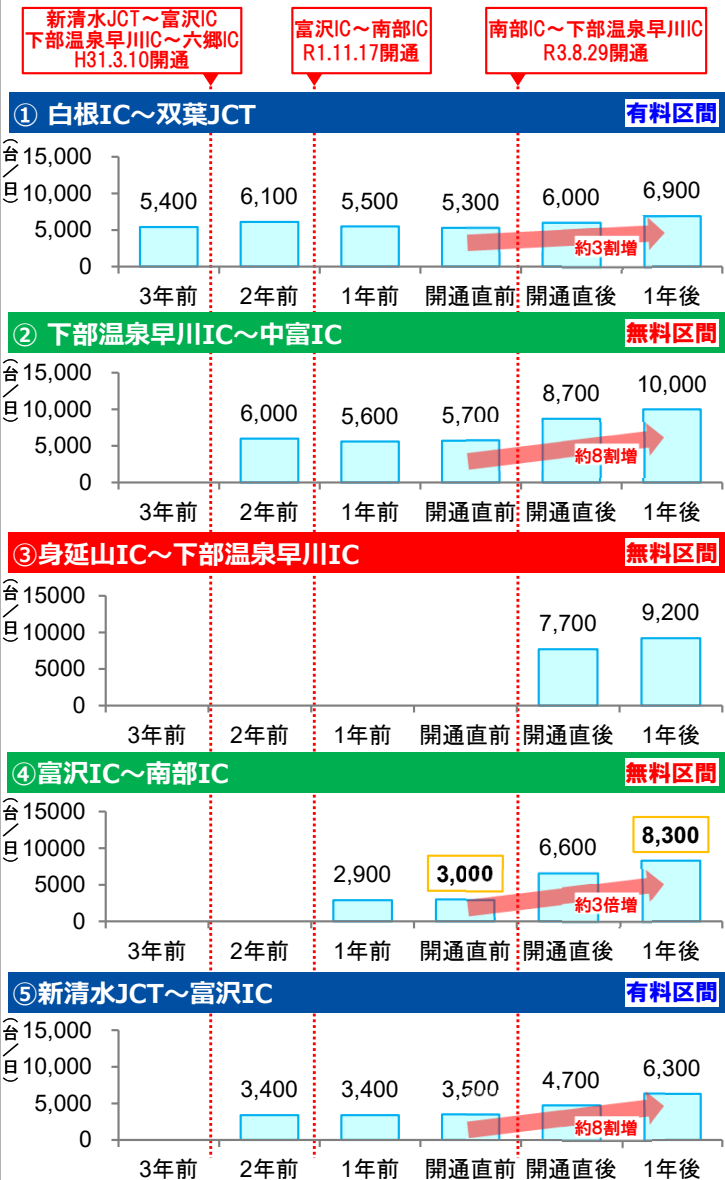
凡例	
開通区間	中部横断自動車道
整備計画区間	その他の高速道路
基本計画区間	
国際戦略港湾	
国際拠点港湾	

中部横断道の交通量の変化 平日・全車

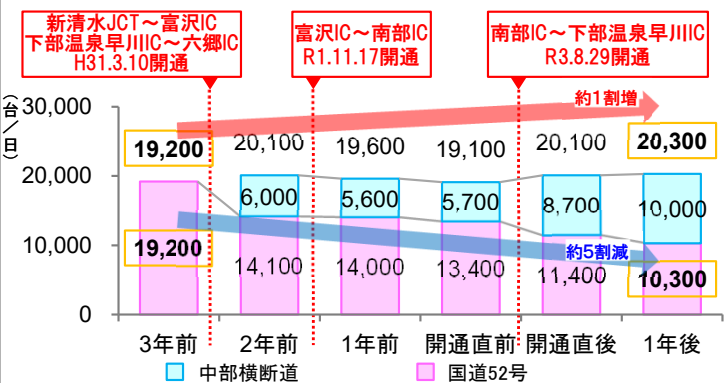
- 令和3年8月に開通した身延山IC～下部温泉早川IC(③)の交通量は、**9,200台/日**。(平日全車)
- 中部横断道(新清水JCT～双葉JCT)の全線開通により、中部横断道の交通量は、開通直前と比べて**最大約3倍に増加**(3,000台/日→8,300台/日)。(平日全車)
- 並行する国道52号**の交通量は、新清水JCT～六郷IC間の開通前と比べ、**約5割減少**(19,200台/日→10,300台/日)。(平日全車)
- 中部横断道と国道52号を合計した**断面交通量**は、新清水JCT～六郷IC間の開通前と比べ、**約1割増加**(19,200台/日→20,300台/日)。(平日全車)



中部横断道の交通量変化



断面交通量の変化 (A-A' 断面)



出典:国土交通省、NEXCO中日本
トラフィックカウンターデータ(速報値)

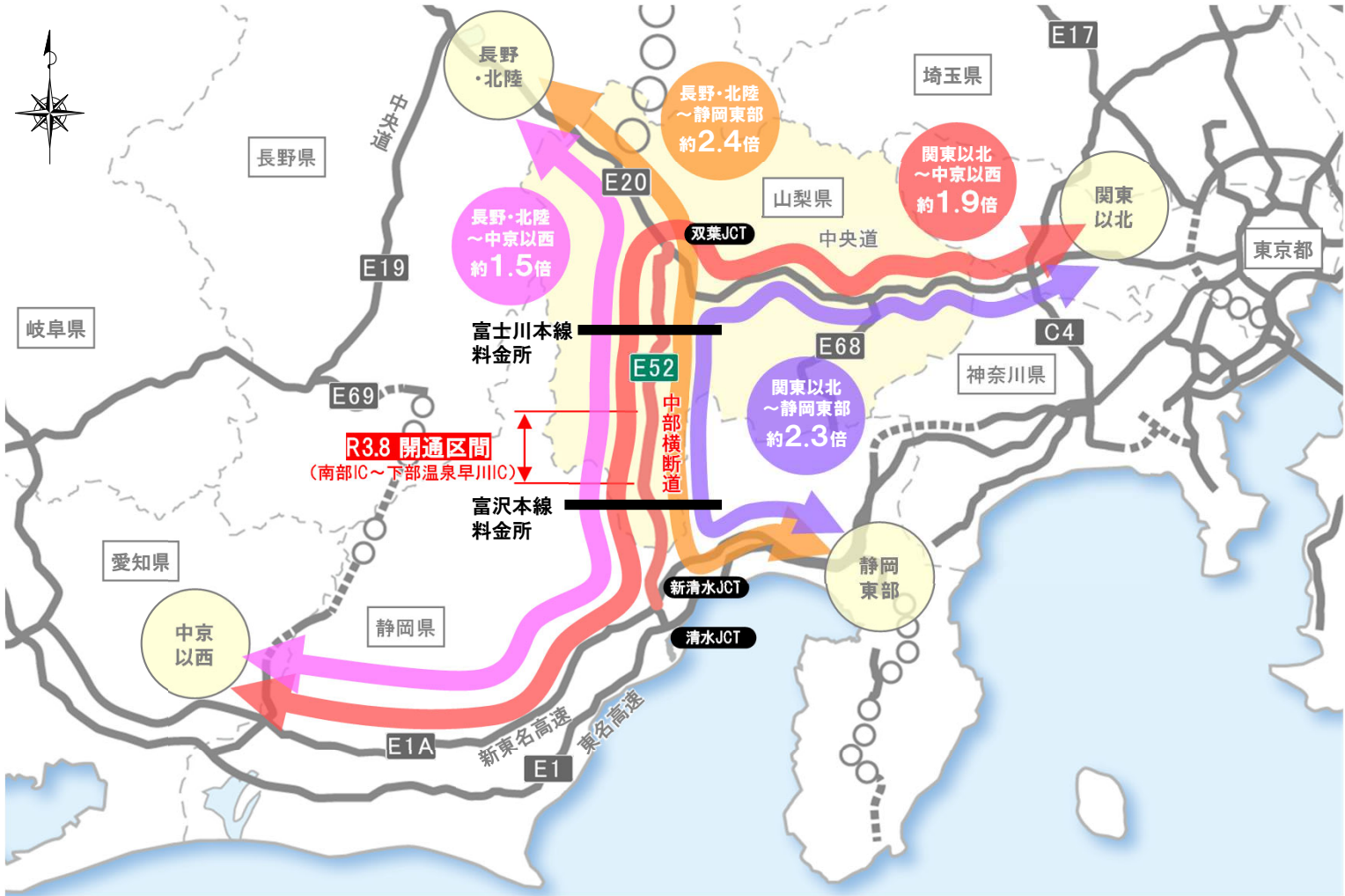
3年前:H30.9.18(火)～21(金) 開通直前:R3.7.12(月)～16(金)
2年前:R1.9.17(火)～20(金) 開通直後:R3.9.13(月)～17(金)
1年前:R2.9.14(月)～18(金) 1年後:R4.8.1(月)～5(金)

※交通量は、トラフィックカウンターの計測値から有効数字2桁(1万台以上は3桁)で丸めた値

交通流動の変化 ①東名・新東名・中央道と連携した広域流動の増加

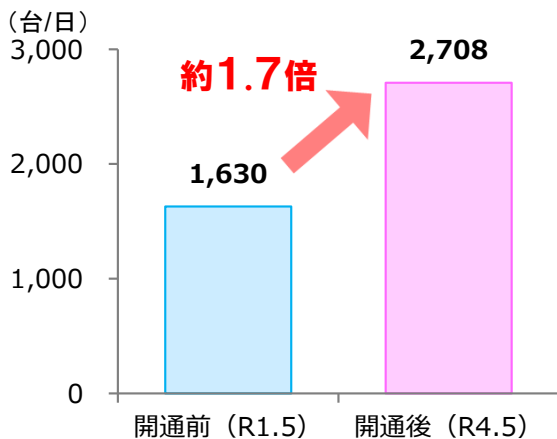
- 中部横断道の全線開通後、**中部横断道を連続利用する車両**※が約**1.7倍**に増加。
- 中部横断道を挟んで、**長野・北陸～静岡東部の車両台数が約2.4倍**、**関東以北～中京以西の車両台数が約1.9倍**に増加するなど、中部横断道を活用した広域な地域間流動が形成。

■広域な地域間流動の変化（中部横断道を連続利用する車両※）



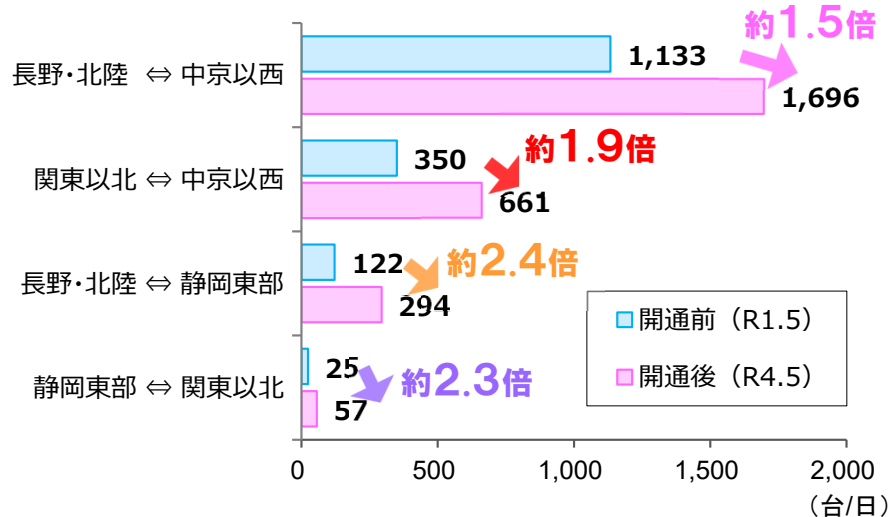
■開通区間を通過する車両台数の変化

（中部横断道を連続利用する車両※）



■発着地域別車両台数の変化

（中部横断道を連続利用する車両※）



出典：NEXCO中日本ETCログデータ（開通前：R1.5、開通後：R4.5）

※連続利用する車両は、ETCを利用した車両のうち富沢本線料金所と富士川本線料金所を80分以内に連続して利用した車両を集計（ETC2.0プローブデータから算出した旅行速度で国道52号等の移動にかかる時間約50分に休憩時間相当の30分を加えた時間）

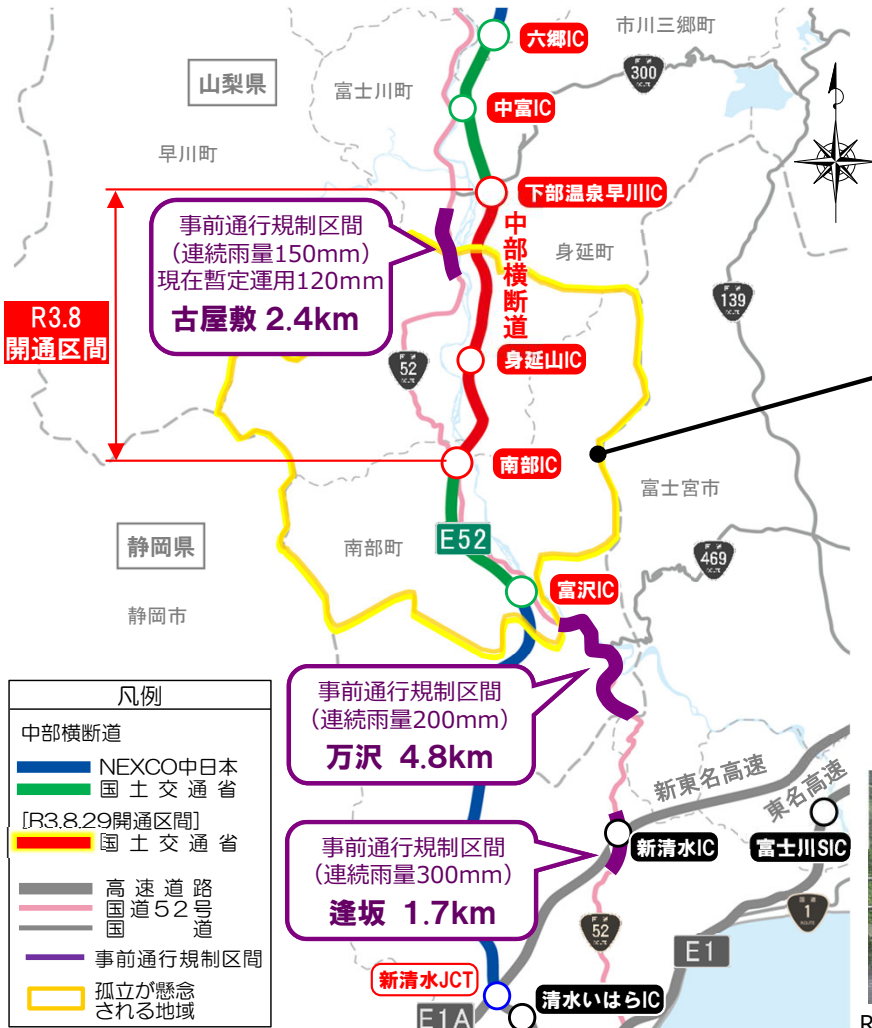
【発着地域の分類】

- 長野・北陸：双葉JCT以西
- 関東以北：双葉JCT以东
- 中京以西：新清水JCT・清水JCT以西、静岡東部：新清水JCT・清水JCT以东

交通流動の変化 ②災害時の代替路として機能

- 中部横断道が通過する地域は、地形や地質等の特性から事前通行規制区間が3箇所存在しており、過去には大雨により度々通行規制が発生。
- これらの区間が通行止めになったとしても、**中部横断道を利用した事前通行規制区間の迂回が可能**となることで、孤立集落の発生を回避。
- 広域ネットワークにおいても、**東京圏と中京圏間の走行経路が9通りから15通りに増加**することで、災害時等の通行止め時のリダンダンシーを確保。

■国道52号 事前通行規制区間



■国道52号の雨・災害による通行規制履歴(H24~R3年度)

規制区間名	規制回数	のべ規制時間
万沢	7回	65時間30分
古屋敷	5回	148時間25分

「古屋敷」と「万沢」が同時に通行止めになった場合、孤立が懸念される人口

約9,800人

出典：R2国勢調査より算出

「古屋敷」と「万沢」が通行止めになったとしても、中部横断道を利用した迂回が可能

孤立集落の発生を回避

■国道52号(万沢)



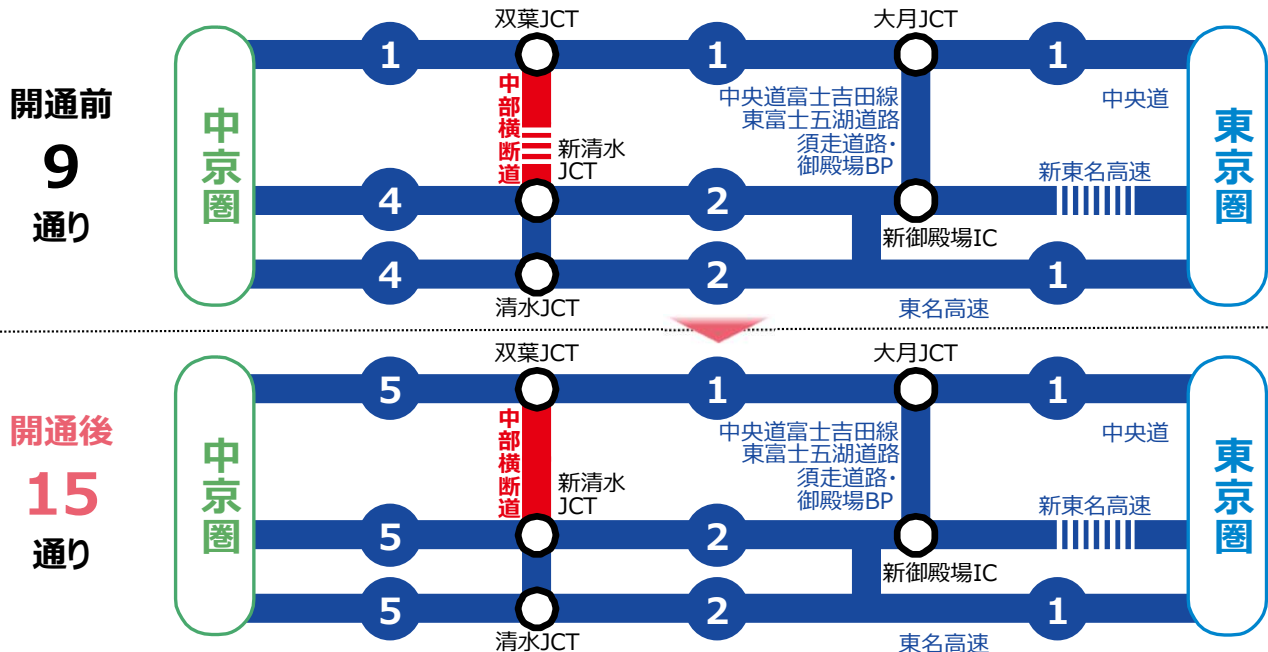
R1.5.21に「万沢区間」で事前通行規制（規制時間：4時間）

■中部横断道(富沢IC)



その間、中部横断道が代替道路として機能

■東京圏から中京圏への走行経路の増加



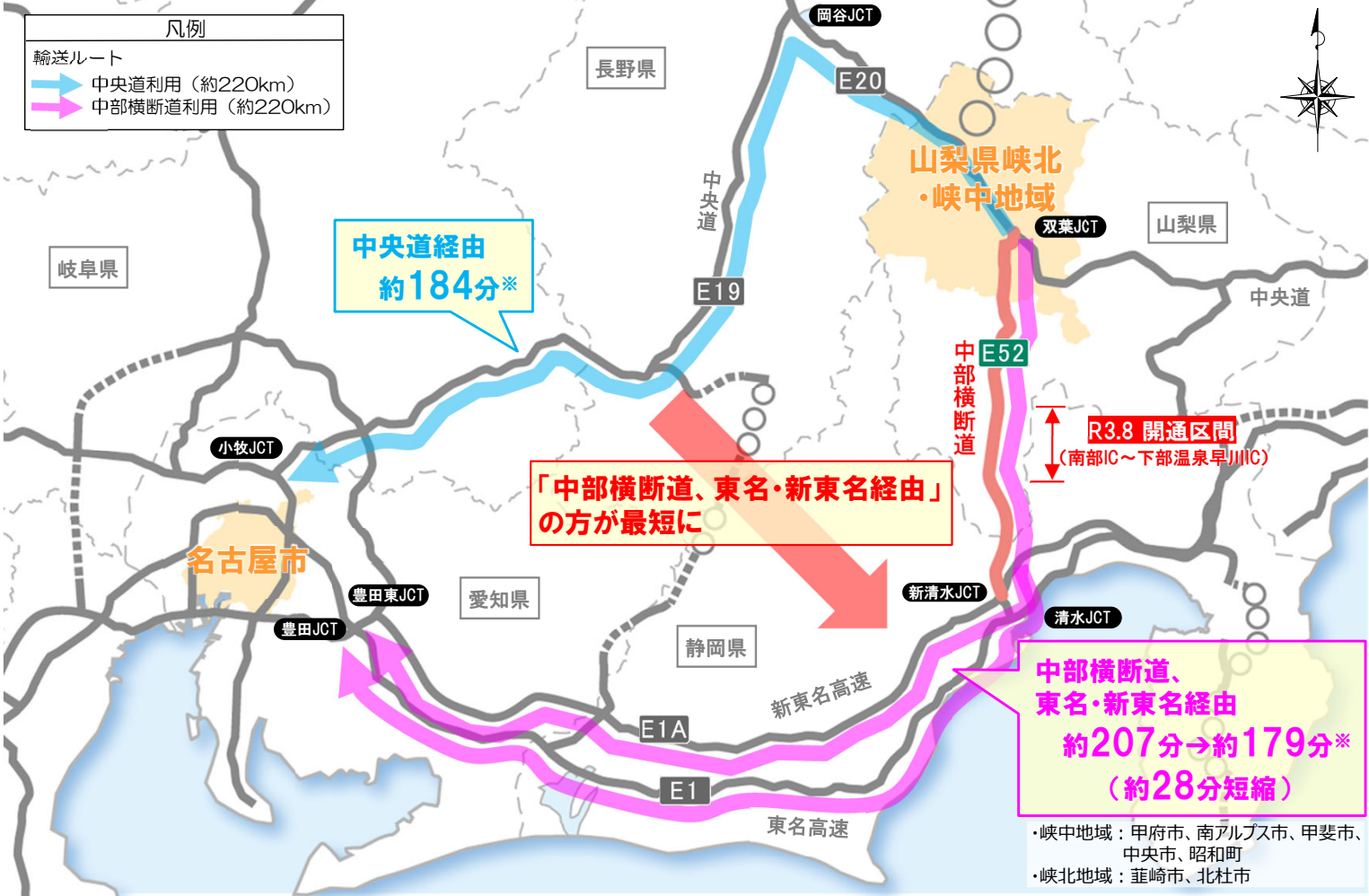
対象区間：首都圏中央連絡自動車道（圏央道）から三遠南信道路まで（中央道・新東名高速・東名高速利用）

1 東京圏からの走行経路の組合せ数 [中部横断道] 使用中 [高速道路] 供用中 [事業中]

交通流動の変化 ③山梨県内から中京方面への輸送効率化に寄与

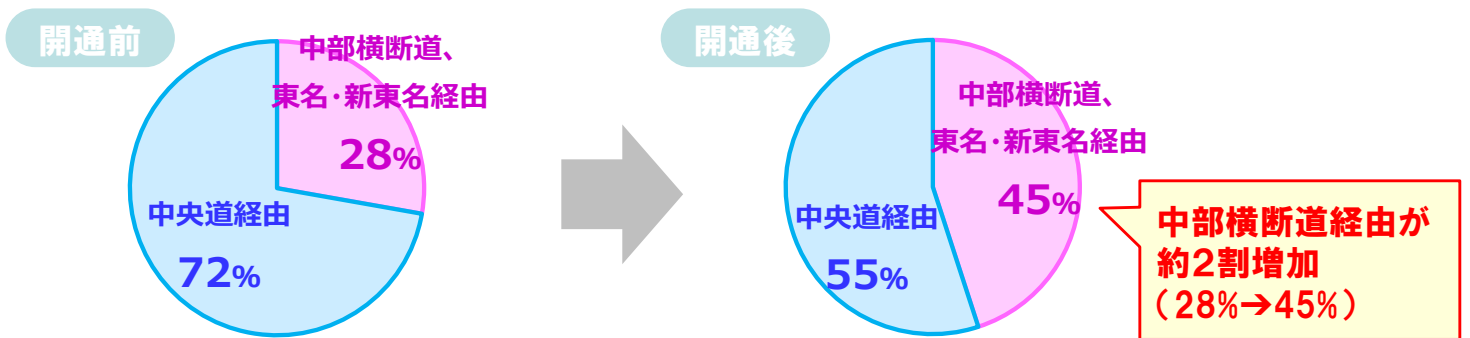
- 中部横断道の開通により、**山梨県峡北・峡中地域から名古屋市までの所要時間が約28分短縮**し、「中央道経由」よりも「**中部横断道、東名・新東名経由**」の方が最短に。
- 山梨県峡北・峡中地域～名古屋市間の輸送における中部横断道の利用割合が、**約2割増加**（28%→45%）。
- 山梨県内から中京方面へのアクセス性が向上し、輸送効率化に寄与。

山梨県峡北・峡中地域から名古屋市への輸送ルート



輸送ルートの分担率の変化（山梨県峡北・峡中地域～名古屋市）

※トラプロ®データ（貨物車プローブデータ）より算出した昼間12時間旅行速度により算出



出典：トラプロ®データ（貨物車プローブデータ）開通前：H29.9～H30.6 開通後：R3.9～R4.6

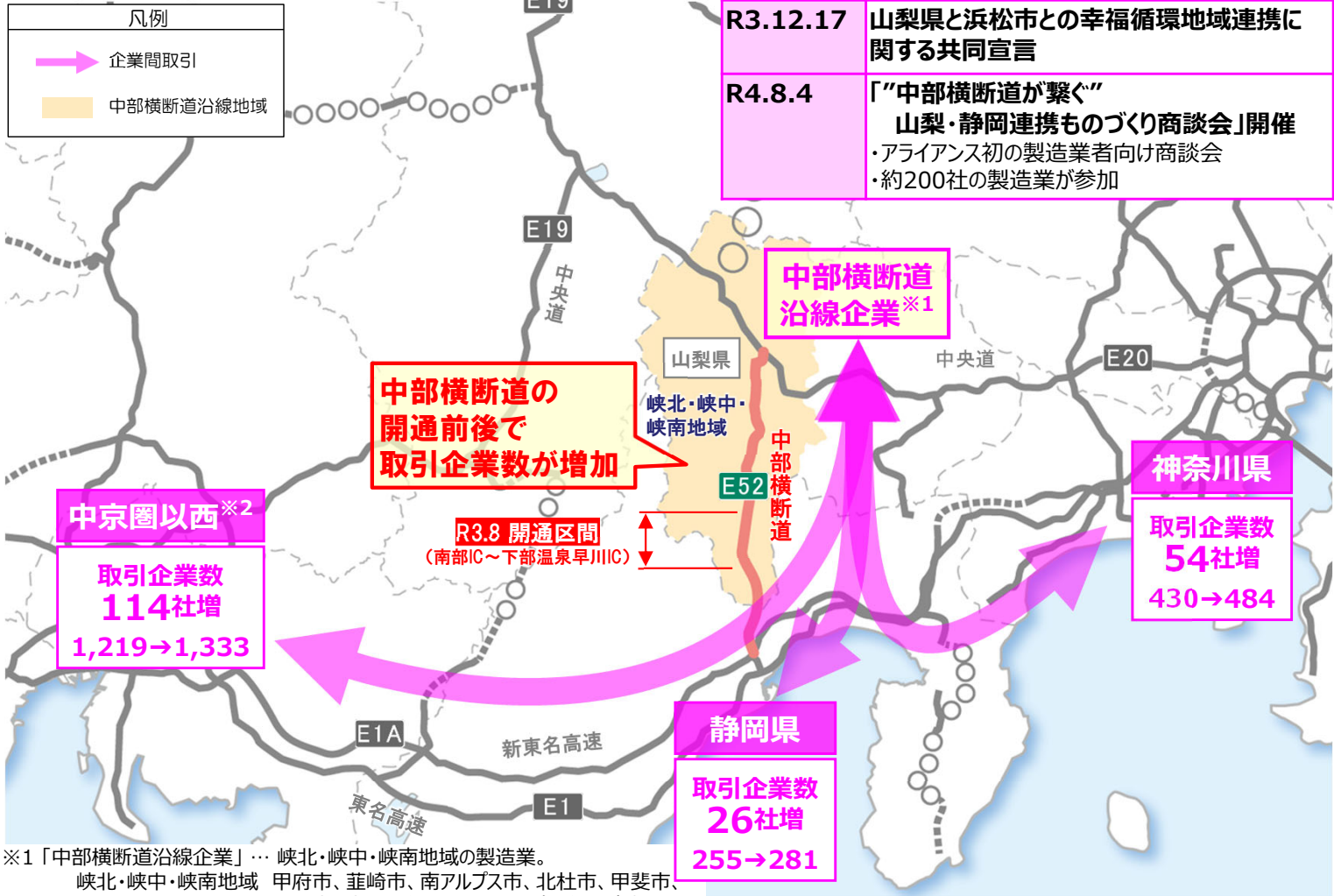
食品製造業者(山梨県甲府市)の声

- ・山梨県内の工場から、ケーキなどの商品を全国に向けて出荷しています。中京・関西方面へは毎日20～30台のトラックで輸送しています。
 - ・中部横断道の開通により、出荷ルートを中央道経由から中部横断道・新東名高速に変更し、中京・関西方面への輸送時間が約30分短縮しました。
 - ・中央道に比べ、中部横断道や新東名高速はカーブが少なく、デリケートな商品を運んでいるドライバーへの負担が軽減されました。
- （R4.6 企業ヒアリング結果）

地域産業の活性化 ①企業間取引の拡大

- 山梨中央銀行と静岡銀行は、R2年に、両行の取引先企業の販路拡大等を目指す業務提携を締結。R4年には、静岡・山梨両県の地元企業の新たな取引先を求める商談会を開催。
- 中部横断道沿線企業は、中部横断道の開通前後で**取引企業数・従業者数が約1割増加**するとともに、**売上高が約4割増加**し、経済活動が活性化。

■中部横断道沿線企業※1と 神奈川県・静岡県・中京圏以西の 取引企業数の変化

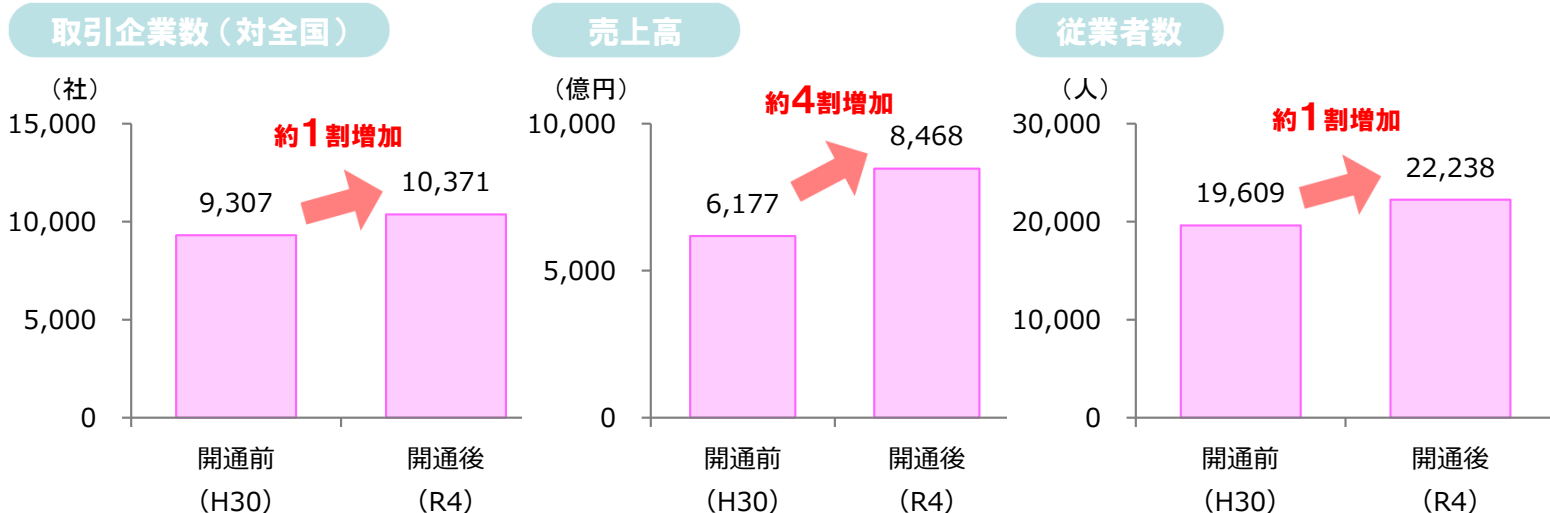


※1「中部横断道沿線企業」… 峡北・峡中・峡南地域の製造業。
 峡北・峡中・峡南地域 甲府市、韮崎市、南アルプス市、北杜市、甲斐市、中央市、市川三郷町、早川町、身延町、南部町、富士川町、昭和町

※2「中京圏以西」… 中京圏（愛知県・岐阜県・三重県）、近畿地方、中国地方、四国地方、九州地方

出典：企業間取引データ（株式会社 帝国データバンク）
 開通前：H30.6時点、開通後：R4.6時点

■中部横断道沿線企業※1の取引企業数・売上高・従業者数の変化

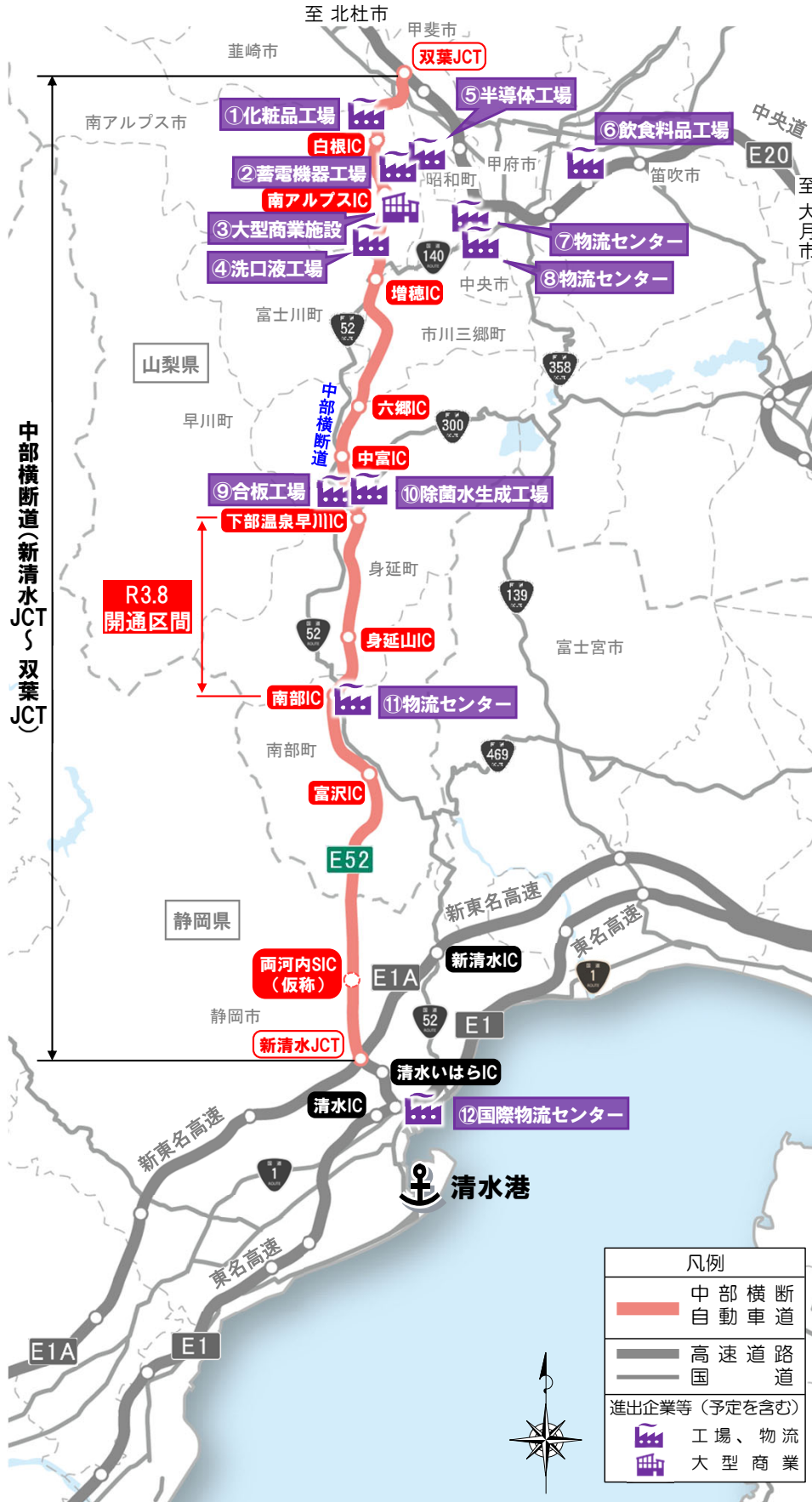


出典：企業間取引データ（株式会社 帝国データバンク）
 開通前：H30.6時点、開通後：R4.6時点

地域産業の活性化 ②工場等立地の増加

- 中部横断道の沿線では、高速道路への良好なアクセス性から、**企業立地が増加**。地域の雇用創出に貢献。
- 山梨～静岡間の全線開通により、**更なる企業立地の計画**があり、それによる地域の雇用創出、地域の産業振興への貢献が期待。

■中部横断道及び周辺高速道路*のIC付近における工場等の近年の立地状況



NO	業種等	所在地	操業・開設時期
①	化粧品工場	南アルプス市	R6予定
②	蓄電機器工場	南アルプス市	未定
③	大型商業施設	南アルプス市	R6予定
④	洗口液工場	南アルプス市	R3
⑤	半導体工場	甲斐市	R6予定
⑥	飲食料品工場	笛吹市	R6予定
⑦	物流センター	中央市	R4
⑧	物流センター	中央市	R2
⑨	合板工場	身延町	R1
⑩	除菌水生成工場	身延町	R2
⑪	物流センター	南部町	R3
⑫	国際物流センター	静岡市	R2

出典：新聞各紙、各社HP及び発表資料（R4.8時点）



写真提供：洗口液工場

■進出企業の声

- ・ 製品を国内各所へ出荷する際に物流コスト低減が期待できる場所として、アクセス性の良い山梨県の中部横断道沿線に新工場を開設しました。
- ・ 従業員の半数以上を、山梨県内から新たに採用しました。今後も地元雇用を増やし、地域活性化にも貢献していきたいと考えています。

(R4.3 ヒアリング結果)

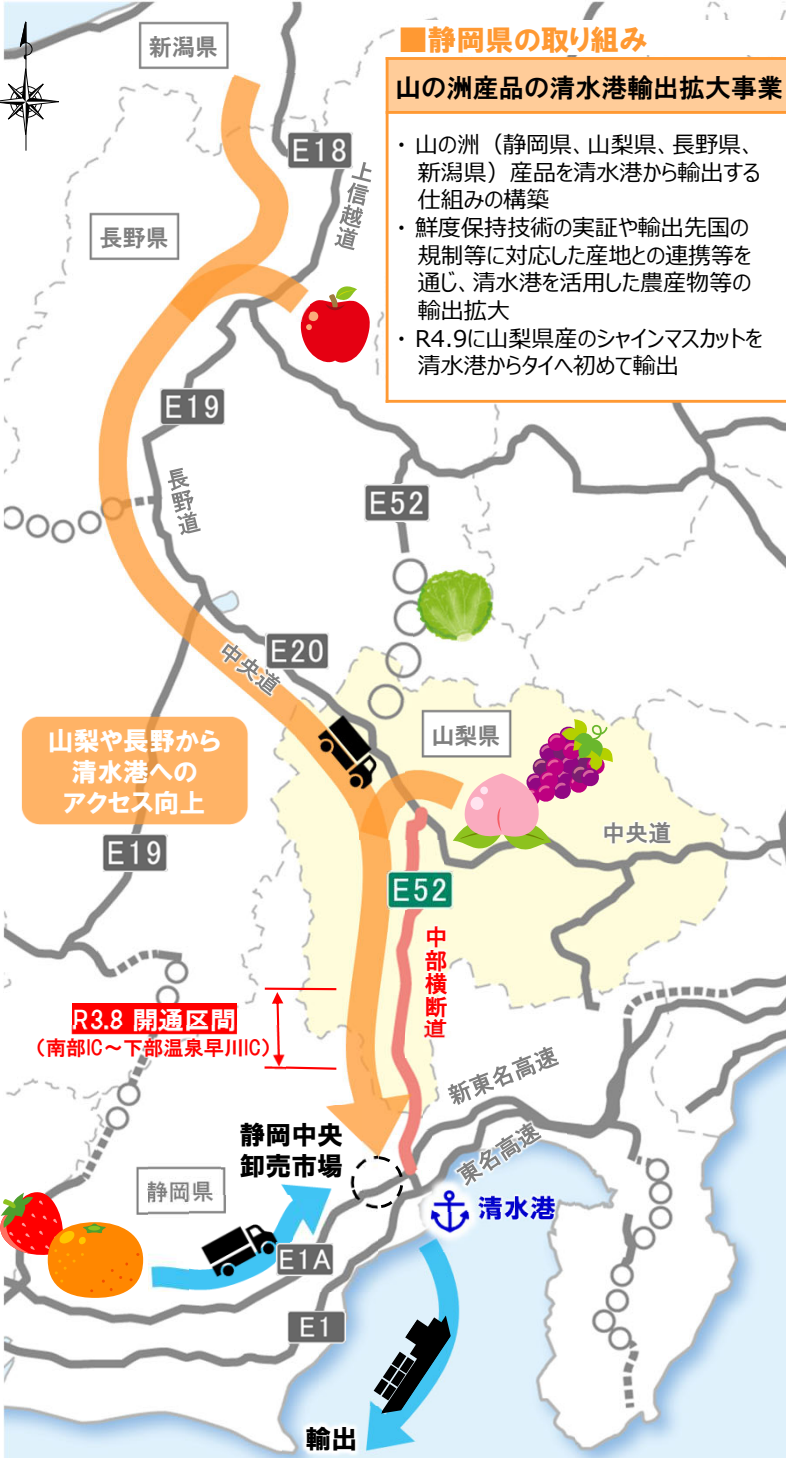
*「中部横断道及び周辺高速道路」…中部横断道、新東名高速清水連絡路、中央道（笛吹八代SIC～双葉JCT）

清水港を活用した輸出の促進 ①農産物の輸出を支えるコールドチェーンの整備

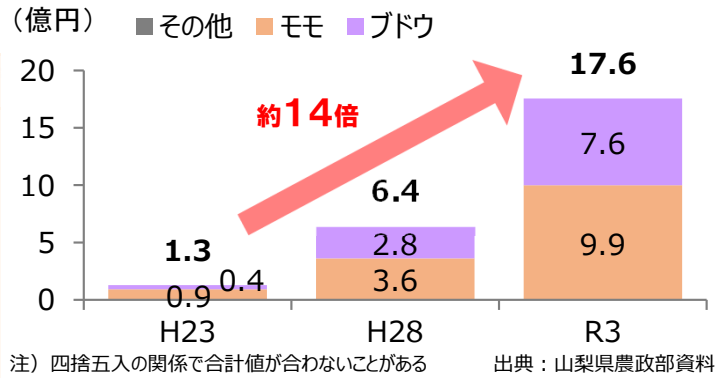
- 山梨県の農産物の輸出量は拡大傾向であるが、輸送中の品質の維持が課題。
- 中部横断道の整備を契機に、清水港、静岡中央卸売市場では、農産物の輸出促進を目指し、**一貫したコールドチェーン※の体制を構築**するための冷蔵施設などを整備。

※ コールドチェーン：冷凍・冷蔵といった所定の温度を維持したまま、生産から輸送・保管の流通プロセスを鎖のようにつなげる仕組み

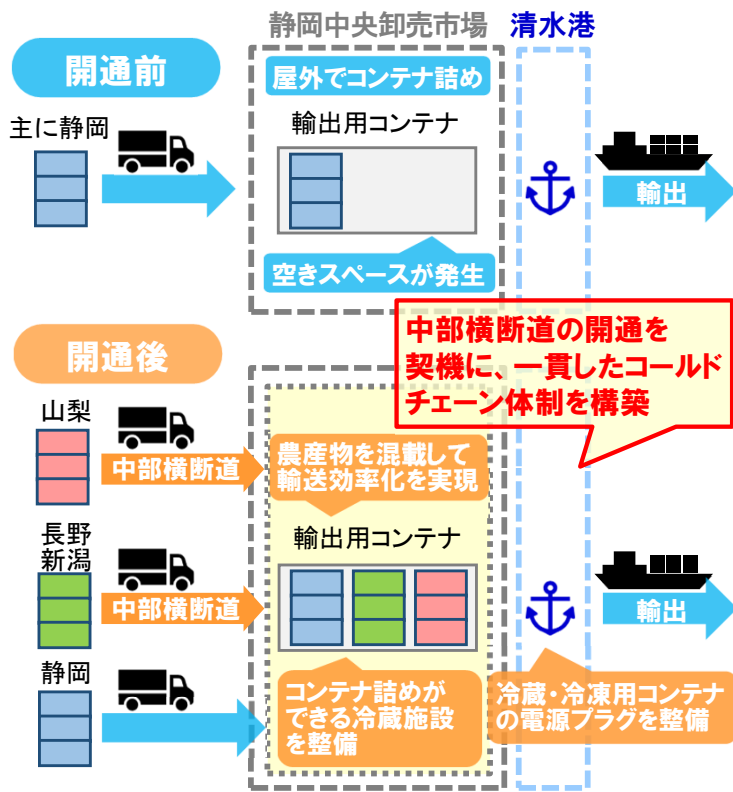
■産地から清水港へのアクセス性向上



■山梨県の農産物の輸出量



■農産物の輸出促進に向けた取り組み



■コンテナ詰めができる冷蔵施設



■冷蔵・冷凍用コンテナの電源プラグ



■生産者(輸出事業者)の声

- ・シャインマスカットの生産と出荷を近隣の農家と行っています。出荷の大半は、台湾・香港・タイに向けての産地直送の輸出で、輸出量は年々増加しています。
- ・中部横断道の開通で、清水港までの時間が約30分短縮。畑から輸出先まで一貫したコールドチェーンを組めるようになりました。
- ・清水港からの輸出増加を見越し、耕作面積を拡大し、生産量を増加させています。(R4.3 ヒアリング結果)

■市場卸売業者(青果物)の声

- ・中部横断道の開通で山梨や長野からの輸送時間が大幅に短縮し、鮮度が良い状態で着荷してきています。
- ・ブドウの脱粒などのトラブルも減少しました。

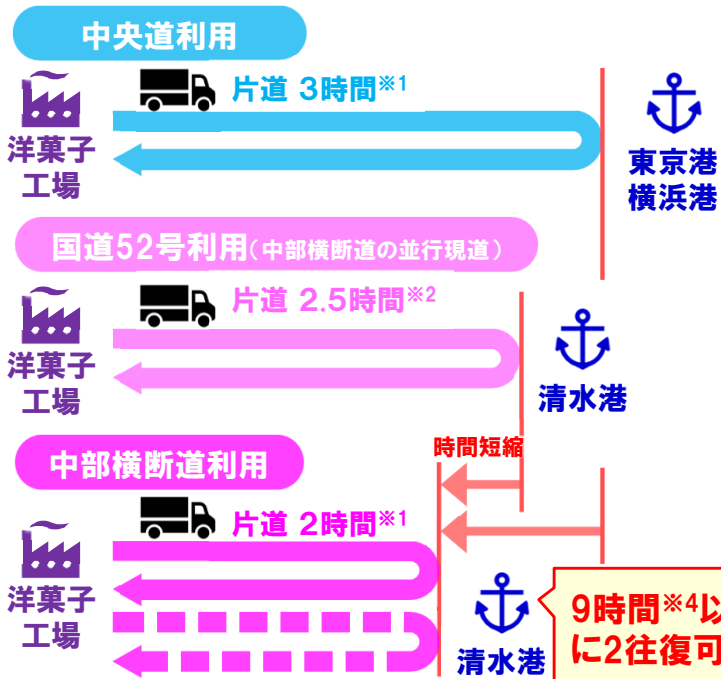
清水港を活用した輸出の促進 ②洋菓子の輸送効率の向上を支援

- 山梨県の洋菓子工場は、冷凍ケーキ等の輸出量は増加傾向であり、R4年はコンテナの本数に換算すると約1,000本を輸出予定。
- 輸送ルートは、東京港・横浜港経由が約7割、清水港経由が約3割。今後は、中部横断道の開通によって、輸送効率が高まった清水港を利用した輸出拡大に期待。

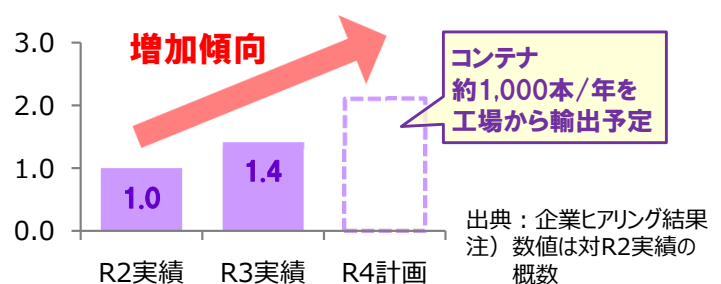
洋菓子輸出の輸送ルートと所要時間



清水港利用による輸送の効率化



洋菓子輸出量の推移



洋菓子工場の声

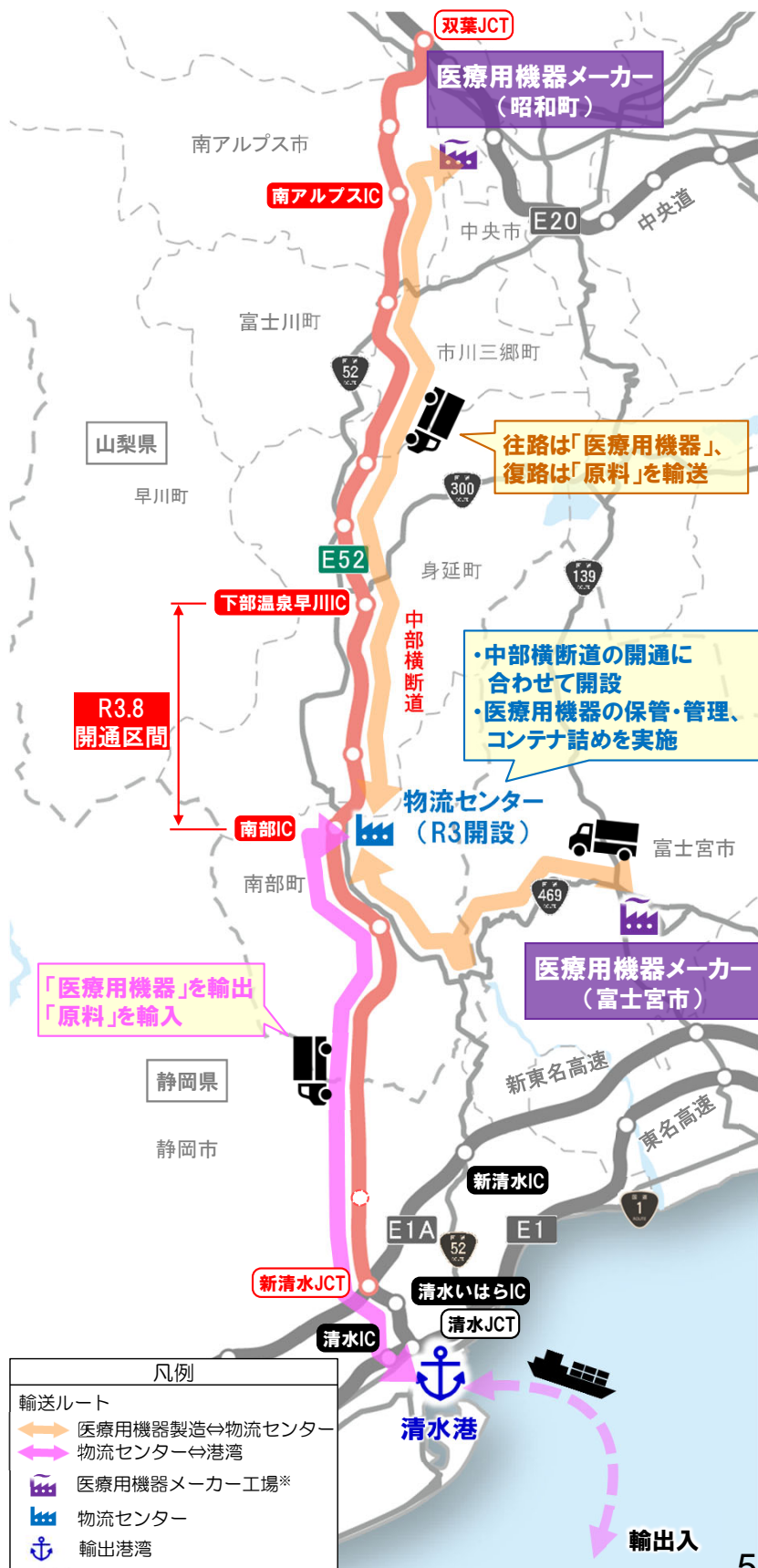
- ・山梨の工場で作った商品を東京港・横浜港と清水港から海外店舗に輸出しています。
- ・海外店舗は毎年増加しており、それに合わせて輸送量も増加しています。
- ・中部横断道の開通で清水港へのアクセスが良くなり、計算上では1日に2往復の輸送も可能となります。

※4『自動車運転手の労働時間等の改善のための基準』(厚生労働省)より「1日の運転時間は2日平均で9時間が限度」

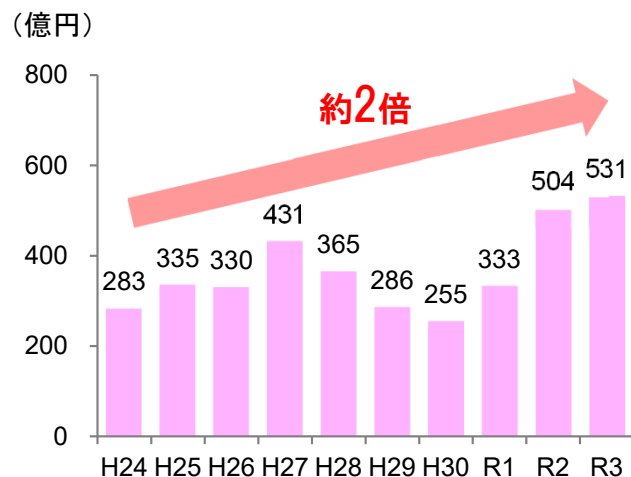
清水港を活用した輸出の促進 ③医療用機器の輸出支援

- 山梨県と静岡県には、大手の医療用機器メーカーの工場が立地。
- 清水港からの輸出額は、H24からR3にかけて約2倍に増加。**
- 中部横断道の開通に合わせ、中部横断道からのアクセスが良い**南部IC周辺に物流センターが開設。**
- 物流センターでは、医療用機器メーカーから製品を搬入し、コンテナ詰めを行い、清水港から輸出（医療用機器の原料の輸入も実施）。今後の輸出拡大に期待。

■医療用機器輸出の物流ルート



■医療用機器の輸出額(清水税関支署)



出典：貿易統計（財務省）
集計対象：清水税関支署取扱の輸出品目（医療用又は獣医用の機器）

■物流センター(南部町)



R4.8撮影

■物流事業者(物流センター運営)の声

- ・中部横断道の開通に合わせて南部IC直近に物流センターを移転・開設しました。
 - ・昭和町や富士宮市に工場がある大手医療機器メーカーの製品を取扱い、清水港を利用して輸出を行っています。
 - ・中部横断道の開通で、工場や清水港とのアクセスが良くなり、輸送の時間も読めることから、工程を管理しやすくなりました。
 - ・戻りのトラックでは、清水港を利用して輸入した原料を工場に運んでいます。
- (R4.6 企業ヒアリング結果)

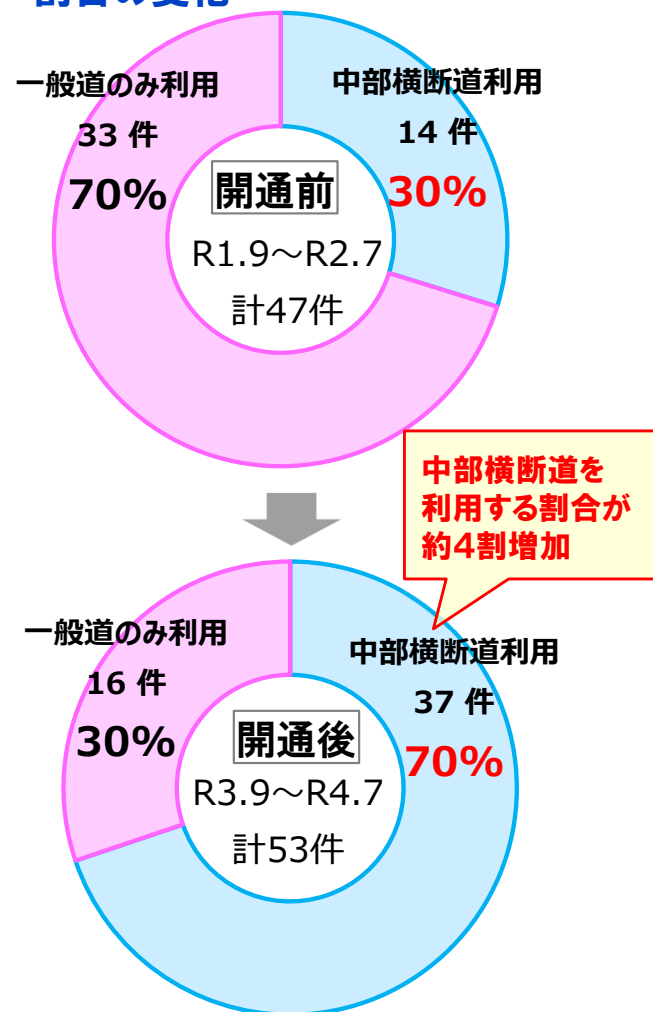
救急医療支援の向上 搬送時間の短縮による救急医療支援

- 身延町・南部町内から第3次救急医療施設への救急搬送における**中部横断道の利用割合が約4割増加**し、**救急搬送時間が平均17分（約2割）短縮**。
- 中部横断道の開通により、**重篤患者に対する救急医療や周産期医療を支援**。

■救急搬送ルート(身延町・南部町→第3次救急医療施設) ■救急搬送における中部横断道利用割合の変化



第3次救急医療施設や周産期医療施設が、身延町・南部町外に立地



中部横断道を利用する割合が約4割増加

凡例	
	救急搬送ルート
	第3次救急医療施設
	NICU設置医療施設
	分娩取扱医療施設
	峡南消防本部管轄区域 (市川三郷町、早川町、身延町、南部町、富士川町)
	開通区間沿線市町村 (身延町、南部町)

第3次救急医療施設：急性心筋梗塞や脳卒中、重度の外傷・熱傷などの重症及び、複数の診療科領域にわたる重篤な救急患者を24時間体制で受け入れる施設

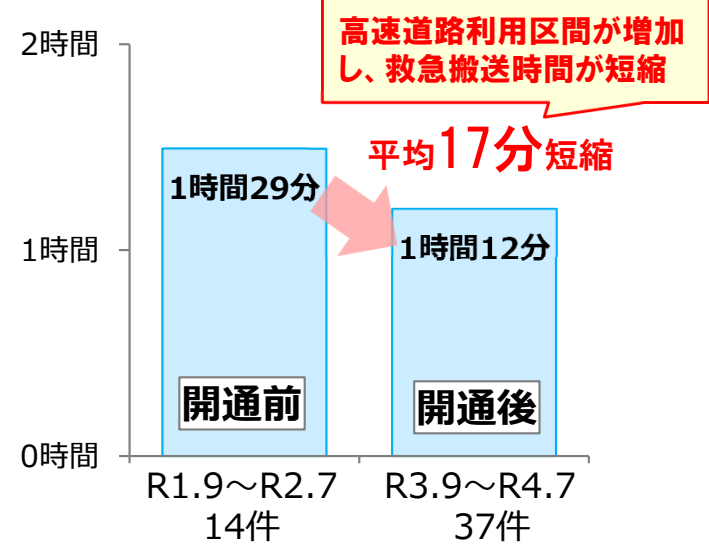
NICU (Neonatal Intensive Care Unit)：新生児のための集中治療室で、早産児・低出生体重児をはじめとして、呼吸障害、仮死、心疾患、消化器疾患などすべての新生児疾患に24時間体制で対応する施設

※1 山梨大学附属病院も第3次救急医療施設と同様に重篤な患者の受け入れをおこなっている

■ 消防関係者の声

- ・中部横断道が全線開通したことで、第3次救急医療機関への搬送時間が短縮され、安全で迅速な搬送が可能になりました。
 - ・直線が多い高速道路のおかげで、搬送中の課題でもあった救急車の振動、揺れが軽減され、傷病者や機関員の負担軽減にも繋がっております。
 - ・高速道路には信号が無く一般車両の動きも一定のため、病院までの搬送時間が把握でき、傷病者の収容や医療機関への引渡しが無事になったことで、救命率の向上が見込まれます。
- (R4.2 消防関係者 ヒアリング結果)

■ 平均救急搬送時間※2



高速道路利用区間が増加し、救急搬送時間が短縮

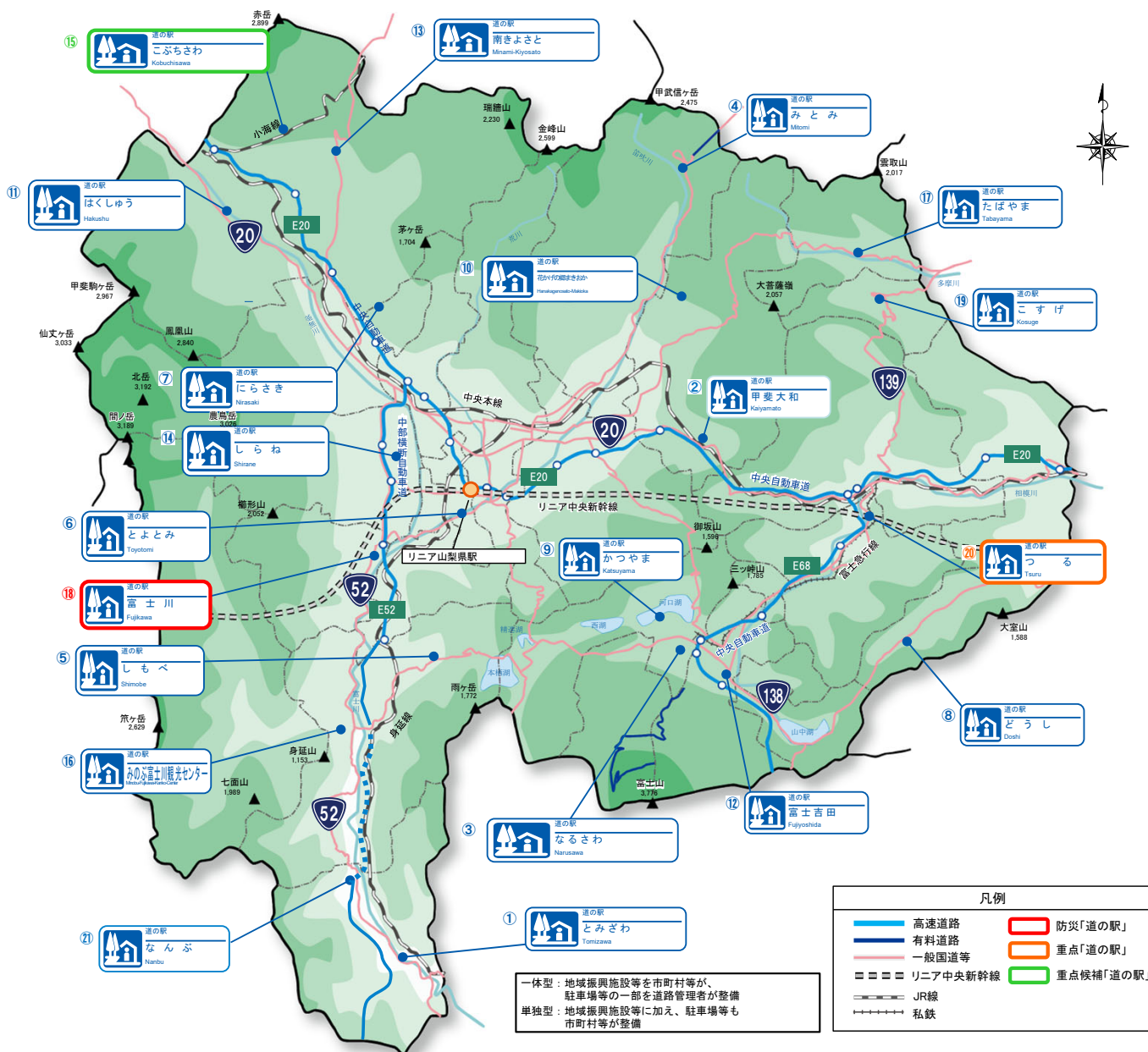
出典：峡南消防本部提供データ

(抽出条件)
 ・出勤地区：身延町・南部町
 ・搬送先病院：県立中央病院高度救命救急センター、山梨大学附属病院救急部、静岡県立総合病院高度救命センター

※2 119番通報を受けてから病院到着までに要した時間の平均値

山梨県の道の駅

山梨県内では地域の特徴を生かした21箇所の「道の駅」が登録されています。



駅名	所在地	供用開始	整備方法
1 とみざわ	南巨摩郡南部町福士 28507番地1	S63.10.24	単独型
2 甲斐大和	甲州市大和町初鹿野 2248番地	H7.6.22	直轄 一体型
3 なるさわ	南都留郡鳴沢村宇 ジラゴン8532番地63	H7.8.13	単独型
4 みとみ	山梨市三富川浦 1822番地1	H10.4.10	一体型
5 しもべ	南巨摩郡身延町古閑字 大境4321番地	H9.4.24	一体型
6 とよとみ	中央市浅利 1010番地1	H10.3.20	単独型
7 いらさき	韮崎市中田町中条 1795番地	H10.10.2	単独型
8 どうし	南都留郡道志村 9745番地	H10.7.18	単独型
9 かつやま	南都留郡富士河 口湖町勝山3758番地	H10.7.27	一体型
10 花かけの郷 まきおか	山梨市牧丘町室伏 2120番地	H12.1.1	一体型

駅名	所在地	供用開始	整備方法
11 はくしゅう	北杜市白州町白須 1308番地	H13.2.3	単独型
12 富士吉田	富士吉田市新屋 1936番地6	H15.4.16	単独型
13 南きよさと	北杜市高根町長沢 760番地	H12.7.7	単独型
14 しらね	南アルプス市在家塚 595番地1	H15.4.1	一体型
15 こぶちさわ	北杜市小淵沢町 2968番地1	H16.4.29	単独型 (重点候補)
16 みのぶ富士川 観光センター	南巨摩郡身延町下山 1597 番地富士川クラフター内	H26.7.17	単独型
17 たばやま	北都留郡丹波山村 2901番地	H12.9.10	単独型
18 富士川	南巨摩郡富士川町青柳町 1655番地3	H26.7.8	直轄 一体型(防災)
19 こすげ	北都留郡小菅村 3445番地	H27.3.29	単独型
20 つる	都留市大原 88番地外	H28.11.5	単独型(重点)
21 なんぶ	南巨摩郡南部町中野 3034番地1	H30.7.21	直轄 一体型

■甲府河川国道事務所

〒400-8578

山梨県甲府市緑が丘1丁目10の1

TEL. 055-252-5491・5492

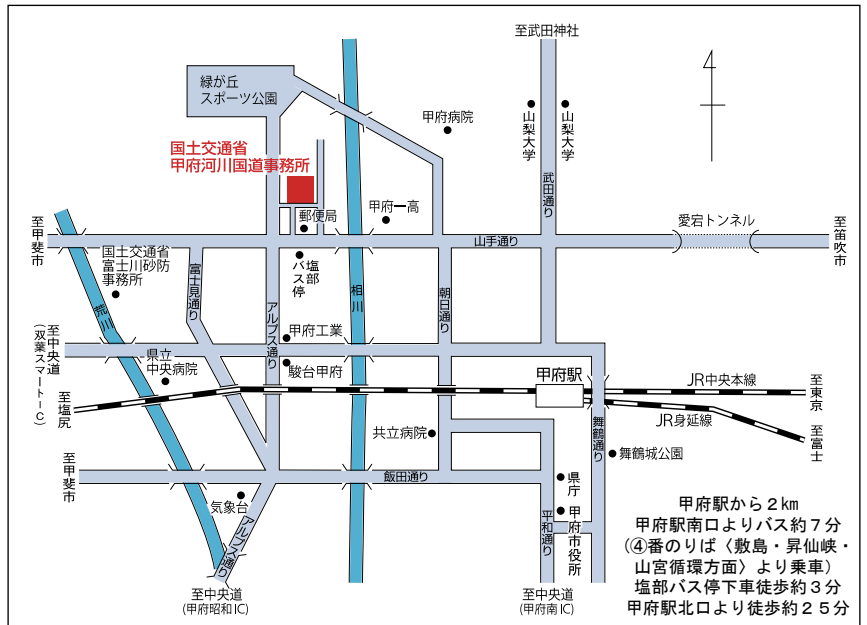
FAX. 055-251-2591

●甲府駅から2km

●甲府駅北口より徒歩約25分

●甲府駅南口よりバス約7分

④番のりば〈敷島・昇仙峡・山宮循環方面〉で乗車
塩部バス停下車徒歩3分



■富士川上流出張所

〒409-3601

山梨県西八代郡市川三郷町市川大門645

TEL.055(272)0040

FAX.055(272)6398

●JR身延線市川大門駅より徒歩約1分

・河川出張所管理区間

韮崎市・他6市町...富士川（釜無川）は、富士橋上流端から武田橋まで
支川笛吹川は、富士川合流点より身延線の笛吹川鉄橋まで



■富士川中流出張所

〒409-2305

山梨県南巨摩郡南部町内船4544の2

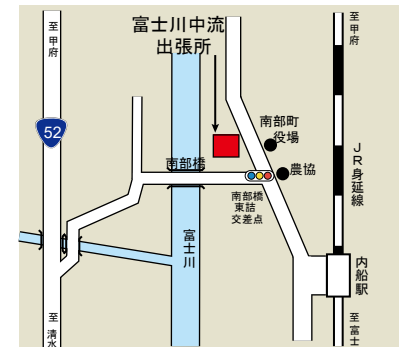
TEL.0556(64)2310

FAX.0556(64)3554

●JR身延線内船駅より徒歩約5分

・河川出張所管理区間

南部町・他3町...富士川は、静岡県境より富士橋上流端まで



■富士川下流出張所

〒416-0909

静岡県富士市松岡官有無番地

TEL.0545(61)0078

FAX.0545(64)9147

●JR東海道本線富士駅より徒歩約30分

・河川出張所管理区間

静岡県富士市・他2市...富士川は、河口より山梨県境まで



■笛吹川出張所

〒406-0034

山梨県笛吹市石和町唐柏720-3

TEL.055(262)2821

FAX.055(263)5420

●JR中央本線石和温泉駅より徒歩約35分

・河川出張所管理区間

甲府市・他4市町...支川笛吹川は、身延線の笛吹川鉄橋より岩手橋まで



■大月出張所

〒401-0011

山梨県大月市駒橋1丁目7の32

TEL.0554(22)2411

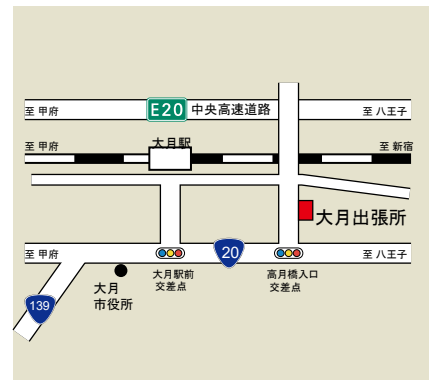
FAX.0554(23)3576

●JR中央本線大月駅より徒歩約10分

・道路出張所管理区間

国道20号...神奈川県境～大月市初狩町

国道139号...西桂町・都留市境～大月市



■甲府出張所

〒400-0049

山梨県甲府市富竹2丁目3の12

TEL.055(222)4891

FAX.055(222)0594

●JR中央本線甲府駅下車 甲府駅南口よりバス約11分

(①番のりばく小笠原・鵜沢・県立美術館方面)より乗車)

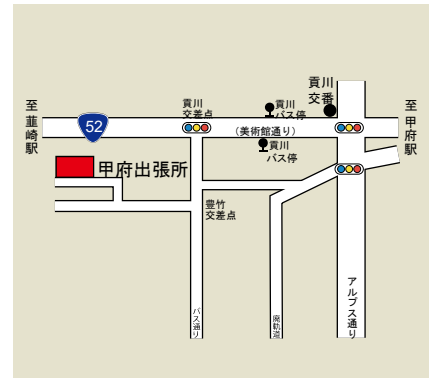
貢川バス停下車徒歩約5分

●甲府駅より徒歩約50分

・道路出張所管理区間

国道20号...笛吹市石和町～長野県境

国道52号...富士川町・南アルプス市境～甲府市丸の内



■峡南国道出張所

〒409-2531

山梨県南巨摩郡身延町梅平2483の185

TEL.0556(62)0621

FAX.0556(62)3310

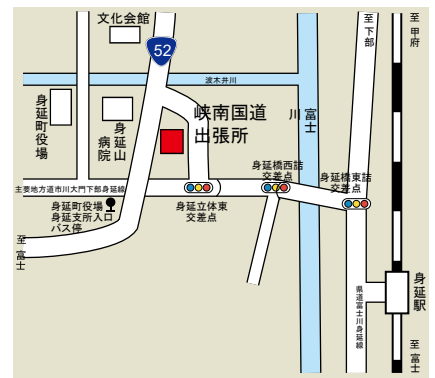
●JR身延線身延駅よりバス(中野行き・大城行き・奈良田行き・雨畑行き)乗車 身延町役場身延支所入口下車徒歩約3分

●身延駅より徒歩約30分

・道路出張所管理区間

国道52号...静岡県境～富士川町・南アルプス市境

中部横断自動車道...富沢IC～六郷IC



■富士吉田国道出張所

〒403-0005

山梨県富士吉田市上吉田3丁目2の18

TEL.0555(22)4188

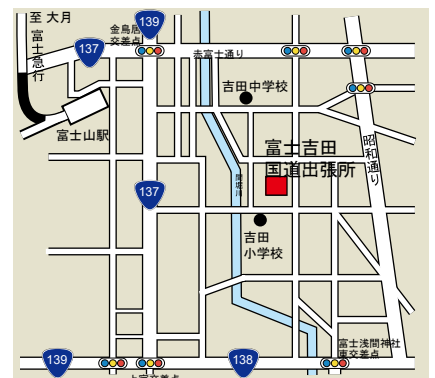
FAX.0555(24)2379

●富士急行線富士山駅より徒歩約10分

・道路出張所管理区間

国道138号...富士吉田市上吉田～静岡県境

国道139号...静岡県境～西桂町・都留市境



■大和国道出張所

〒409-1203

山梨県甲州市

大和町初鹿野字日川原1655の3

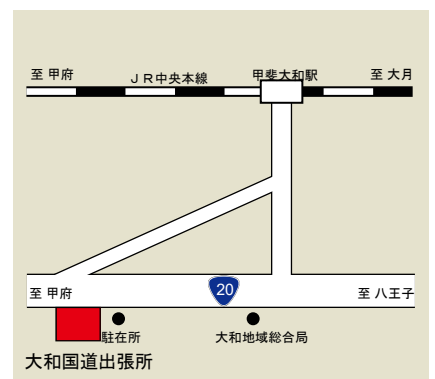
TEL.0553(48)2514

FAX.0553(48)2814

●JR中央本線甲斐大和駅より徒歩約7分

・道路出張所管理区間

国道20号...大月市初狩町下初狩～笛吹市石和町広瀬





国土交通省 関東地方整備局 甲府河川国道事務所

〒400-8578 山梨県甲府市緑が丘1丁目10の1

☎055-252-5491(代表)

HP-----<http://www.ktr.mlit.go.jp/koufu/>

twitter---http://twitter.com/mlit_kofu/



道路災害、通行規制、河川などの重要な情報を
随時、ツイッターで発信しています。